Panasonic®

子 機 編

取扱説明書

製品名	ワイヤレスモニター付 テレビドアホン※	パーソナルファクス付 テレビドアホン※
品番	ブイエル エスダブリューエヌ ケイエル VL-SWN350KL	ブイエル エスダブリューエヌ ケイエル VL-SWN355KL

※電源コード式

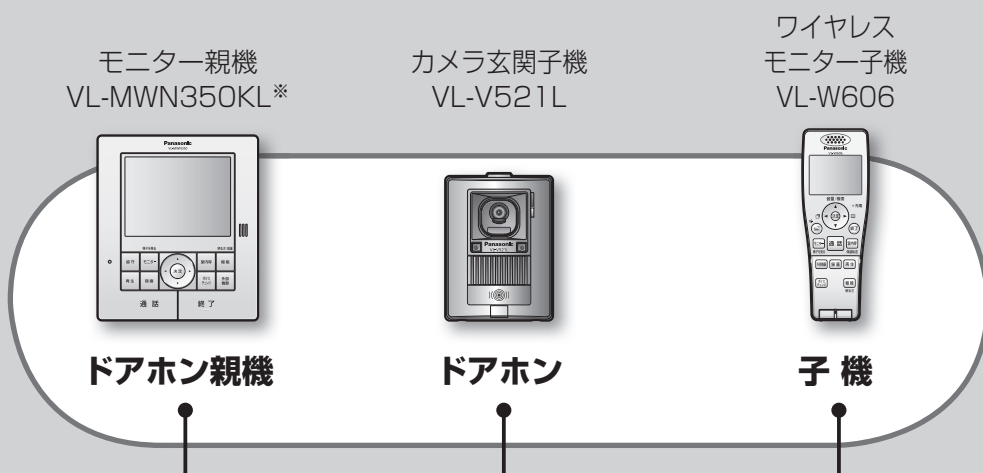
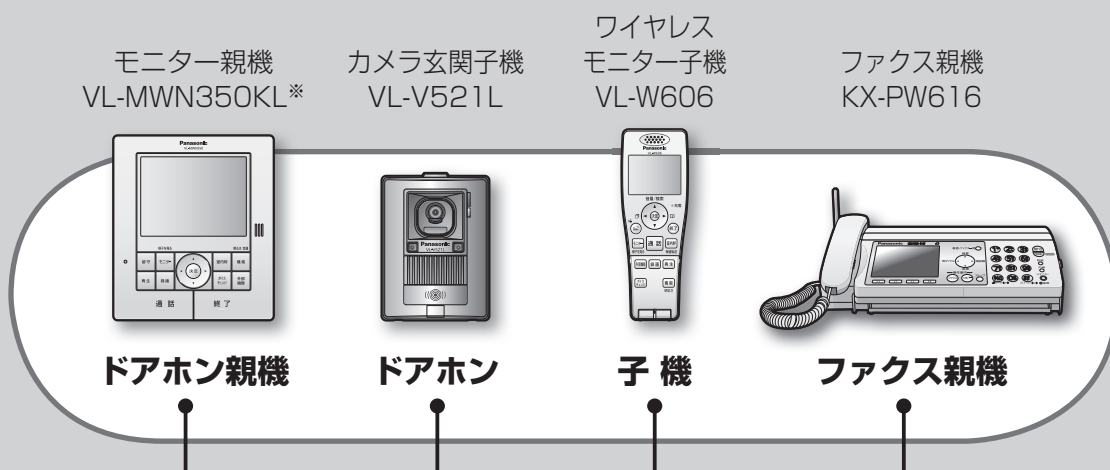
VL-W606

Ni-MH

ニッケル水素電池の
リサイクルに
ご協力ください。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
■ご使用前に「安全上のご注意」(6～8ページ)を必ずお読みください。

はじめに

本書は、VL-SWN350KLとVL-SWN355KLの2機種を共用して説明しています。

※ドアホン親機の表面には「VL-MWN350」と表示されています。

お問い合わせの多い機能を探しやすくしました

（詳しいもくじは4ページへ）

使いかた

よくあるご質問

付属の子機は、**電話の子機として使えるの？**

■ VL-SWN350KLの場合、子機を別売の電話/ファクスに登録（増設）すれば使えます。
増設できる電話/ファクスや増設のしかたは（☞ 18、19ページ）

■ VL-SWN355KLの場合、既に付属のファクス親機に登録されていますので、
接続や充電などの準備が終われば、すぐに電話の子機としても使えます。

増設できる **子機の台数は？**

■ 付属と合わせて**6**台までドアホン親機に登録できます。

〈VL-SWN350KLの場合のみ〉

増設できる電話/ファクスは？

■ 18ページに記載しています。増設した機種によっては、子機の機能が一部使えないことがあります。

電話/ファクスへの登録のしかたは？

■ 19ページに記載しています。

もくじ

■ VL-SWN350KLをご使用の方へ
「電話」「ファクス」「留守番電話」「電話サービス」の機能は、子機を電話/ファクスに増設すると使えるようになりますが、増設した機種によっては一部使えない機能もあります(☞ 18ページ)

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 危険

電池パックについて

■分解・改造しない

分解禁止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■指定の電池パック以外は使用しない

禁止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■付属の電池パックを、この機器以外に使用しない

禁止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■専用の充電台と AC アダプターを使用して指定の電池パックを充電する

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■火の中に捨てたり加熱しない

禁止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■⊕⊖ 端子を金属などに接触させない

禁止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■液もれしたとき、“液”に触れたり目に入れない

禁止

目に入ると、失明の原因になります。

●目に入ったら、こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

■ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない

禁止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

⚠ 警告

■分解・修理・改造しない

分解禁止

火災・感電の原因になります。

● 修理は販売店へご相談ください。

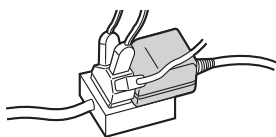
■機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり、ぬらしたりしない

禁止

火災・感電の原因になります。

● 金属物が入ったり、ぬれたりした場合は、すぐに AC アダプターを抜いて販売店へご相談ください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100 V 以外での使用はしない

禁止

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■ぬれた手で、AC アダプターの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

■煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐに AC アダプターを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

● 使用を中止し、販売店へご相談ください。

■AC アダプター・コードを破損するようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない)

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

● 修理は販売店へご相談ください。

■医療機器の近くでの設置や使用をしない (手術室、集中治療室、CCU* などには持ち込まない)

禁止

本機からの電波が医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

*CCU とは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

■雷が鳴ったら AC アダプター・コードに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠ 警告

■ACアダプターは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだACアダプター・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す

電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

■自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで設置や使用をしない

禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

■ACアダプターのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

●ACアダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

⚠ 注意

■湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

■スピーカーに耳を近づけて使用しない

禁止

急に大きな音が出るので、聴覚障害を起こす原因になることがあります。

■不安定な場所や振動の激しい場所では使用しない

禁止

落下により、破損やけがの原因になることがあります。

使用上のお願い

こんなところには設置しない

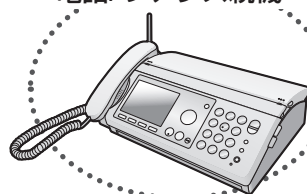
- **火気・熱器具の近く**（変形や故障の原因）
- **テレビ・電子レンジ・パソコンの近く**（電波干渉による誤動作の原因）
- **直射日光のあたるところ・冷暖房機の近く**
（40 ℃以上、0 ℃以下は誤動作・変形・故障の原因）
- **温度変化が激しいところ**（結露による誤動作の原因）

- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させたときは、しばらく放置してから接続、使用してください。

〈子機での通話について〉

- デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使うため、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。
- 補聴器をお使いの場合、種類によっては雑音が入る場合があります。

気になるときや重要な通話は親機で！

ドアホン親機

ドアホン親機・子機・電話/ファクス親機※1間の通信には電波を使うため、各機器の距離や設置場所にご注意ください

- 各機器間に何も障害物がない場合、それぞれ見通し約100 m以内の距離で使えます。
- **距離が離れていたり、100 m以内でも間に次のような障害物などがあると、電波が弱くなり※2、プツプツ音、通話の途切れ、映像の乱れや更新の遅れが起きて、使えないことがあります。このとき子機では、電波表示が圏外になります。**（☞ 14ページ）

• 金属製のドアや雨戸	• 壁を何枚もへだてたところ
• アルミはく入りの断熱材が入った壁	• 各機器を、それぞれ別の階や家屋などで使うとき
• コンクリートやトタン製の壁	

※1 VL-SWN350KLの場合、別売の電話/ファクスに増設時のみ。
※2 **親機間の電波が弱いと、電話/ファクス親機でのドアホン通話や、子機の電話機能が使えないことがあります。親機同士はできるだけ電波の強い場所に設置してください。**
➔ ドアホン親機と電話/ファクス親機間の電波状態を見るには
（☞「ドアホン親機編」81ページ）

使用上のお願い（つづき）

重要なものはプリントして保管（VL-SWN355KL のみ）

● **登録した電話帳**（☞ 36、37ページ）

お知らせ

● 使用誤り、静電気、電波の干渉、使用中に電源が切れたときなど記憶内容が変化・消失する場合があります。
（発生した損害について、当社が責任を負えない場合があります）

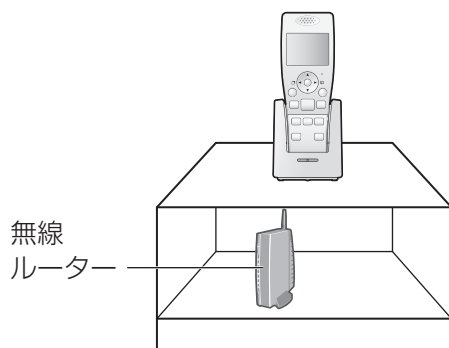
電波を使う機器から離す

電波の干渉による悪影響を予防するため、次の機器からはドアホン親機・子機・電話/ファクス親機とも約3 m以上離してください。

● **電子レンジ**
● **無線LAN機器（ルーター・AV機器・防犯機器など）**
● **ワイヤレスAV機器（テレビ・ステレオ・パソコンなど）**

その他、下記の機器も影響が出る場合があります。

- ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- 万引き防止システム（書店やCDショップなど）
- アマチュア無線局
- 工場や倉庫などの物流管理システム
- 鉄道車両や緊急車両の識別システム
- マイクロ波治療器
- デジタルコードレス電話機/ファクス
- その他、Bluetooth® 対応機器や VICS（道路交通情報通信システム）など

（例：無線ルーターの設置）
離して置けないときは、上下に置くと影響を軽減できることがあります。

電波について

● **本機は、2.4〜2.4835 GHz の全帯域を使用する無線設備です**

移動体識別装置の帯域が回避不可能で、変調方式は「FH-SS方式」、与干渉距離は80 mです。本機には、それを示す右記のマークが貼付されています。

● **本機の使用周波数に関わるご注意**

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、ドアホン親機や電話/ファクス親機の電源プラグを抜いて、お客様ご相談センター(☞ 76ページ)にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談センター(☞ 76ページ)へお問い合わせください。

その他

● 分解・改造することは法律で禁じられています。
(故障の際は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください)

子機を廃棄・譲渡・返却するとき

● お客様固有の情報の流出による、不測の損害などを回避するために、記憶した情報(電話番号などの登録した内容)を消去してください。

- 子機の情報を消去☞ 53ページ「設定の初期化」を行う

お知らせ

● 別売の子機に記憶した情報の消去のしかたは、お使いの子機の取扱説明書をお読みください。

各部のなまえとはたらき

●電話の機能には、(電　話)と表記しています。VL-SWN350KLの場合、この機能を使うには、別売の電話/ファクスへの増設が必要です。(☞ 18、19ページ)

液晶ディスプレイ
●映像などを表示する
(☞ 14ページ)

操作ガイド(☞ 右ページ)

(電　話)
●電話をかける、受ける
(☞ 30ページ)
●スピーカーホンで通話する
(☞ 31ページ)

●通話する(☞ 20ページ)

●ドアホンや別売のカメラ側の様子を見る(☞ 23、54ページ)

●電気錠などの外部機器を操作する
(☞ 57ページ)

●自分の声を低く変える
(☞ 21、32ページ)
(電　話)
●外線や内線通話中に、自分の声が相手に聞こえないようにする
(ミュート☞ 31ページ)

受話口

マルチファンクションキー
(☞ 右ページ)

充電ランプ
●充電中：点灯、充電完了：消灯

●通話などの操作を終わる

●ドアホン親機、別の子機を呼び出す(☞ 22、29ページ)
(電　話)
●通話中に待ってもらう(保留)
(☞ 32ページ)
●電話/ファクス親機、別の子機を呼び出す(☞ 34、35ページ)

●録画した画像を再生する
(☞ 26ページ)

●機能設定をする
(☞ 50～53ページ)
●明るさ変更、逆光補正、LEDライトの設定をする(☞ 21ページ)

●表示中の映像を録画する
(☞ 24、55ページ)

マイク
(送話口)

フリップ
(閉じた状態)

(電　話)
⚹(スター)ボタン
●ダイヤル回線でプッシュホンサービスを使う(トーンボタン)
(☞ 30ページ)

キャッチ/クリアーボタン
●間違えた文字・数字を消す
(☞ 62ページ)
(電　話)
●キャッチホンを受ける
(☞ 32ページ)

フリップ
●手前に起こして開ける

シャープボタン

ポーズボタン
●文字の種類を変える
(☞ 62ページ)
(電　話)
●構内交換機に接続しているときに、ポーズ(ダイヤルの待ち時間)を入れる
(☞ 30ページ)

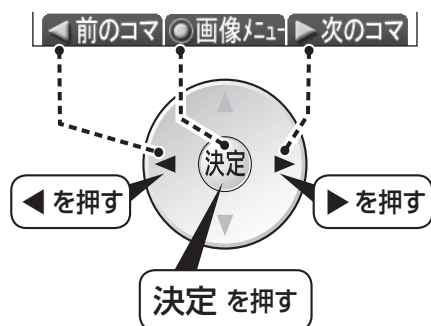
操作ガイドについて

●画面ごとに、有効な操作と操作ボタンのマークを「操作ガイド」として表示する

〈ドアホン着信中の場合〉

通話 来客と話す

例）来客と話すときは 通話 を押すことを意味しています

〈録画再生中の場合〉

●上記の表示は一例で、操作する画面ごとに変わります。

●着信中やモニター中の操作ガイドは、決定 を押すごとに表示/非表示ができます。

マルチファンクションキーについて

〈待ち受け中の場合〉

●待ち受け画面（☞ 14ページ）の表示に対応して、下記の操作ができる

〈その他の場合〉

●音量を変更する（☞ 21、32、46ページ）

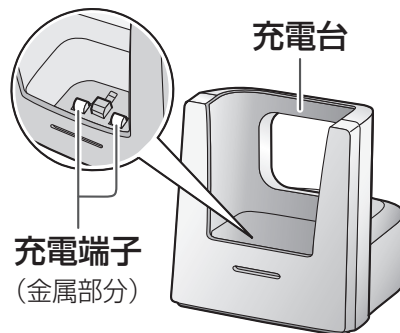
●項目の検索や選択などに使う

●操作ガイドで表示された操作をする（☞ 左記）

本書では、キーの押しかたを下記のように表しています。

 （**上**または**下**を押す）

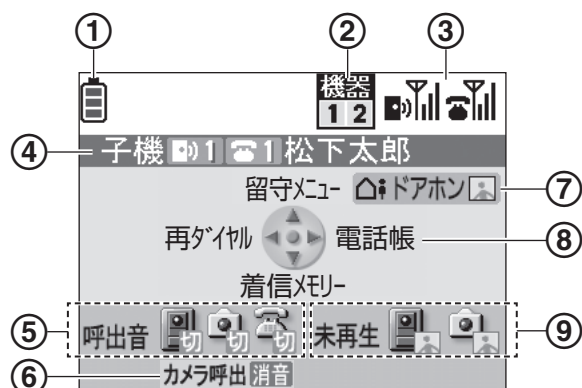
 （**左**または**右**を押す）

 （**決定** を押す）

各部のなまえとはたらき（つづき）

液晶ディスプレイ（モニター画面）の見かた

下記は説明のための画面例で、実際の表示とは異なります。

- 待ち受け画面は、子機を充電台から取ったとき、またはディスプレイ消灯時に（終了）を押すと表示されます。
- 電話の機能についての表示や説明には、（電　話）と表記しています。

■待ち受け画面

■通話・モニター中の画面

操作ガイド（☞ 13ページ）

① 電池残量のめやすを表示する

使用中	●4 秒ごとに「ピッピッ」と警告音が鳴り、約 60 秒後に通話が切れる	赤
待ち受け時	●「充電してください」と表示する（充電しないと使えません）	

② 電気錠やエアコンなどの機器を接続し、ドアホン親機に登録してご使用の場合、各機器の状態を表示する（☞ 57ページ）

③ 電波の状態を表示する

ドアホン親機からの電波の状態

（電　話）

電話/ファクス親機からの電波の状態

- 「圏外」のときは親機からの電波が届いていません（親機に近づけてください）
- 設置場所の電波が弱いときは、電波の強い場所へ設置し直してください

④ ご使用の子機の番号や、機能設定で登録した「子機の名前」（☞ 49ページ）を表示する

ドアホン親機に対する子機番号

電　話

電話/ファクス親機に対する子機番号

⑤ 呼出音量が「切」になっている機器のマークを表示する

ドアホン

カメラ※

電　話

電話（外線）

⑥ カメラ呼出 消音

ドアホン親機とすべての子機で、カメラ呼出音が鳴らない（消音）設定になっているときに表示する

☞「ドアホン親機編」44ページ
「カメラ呼出消音」設定

⑦ ドアホンの留守設定状態を表示する

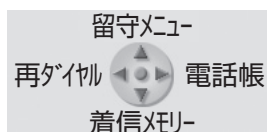
ドアホン　留守設定中（☞ 25ページ）

ドアホン　新しい留守録画あり（☞ 25ページ）

⑧ 待ち受け中に、マルチファンクションキーで操作できる機能を表示する（☞ 13ページ）

VL-SWN350KL

（お買い上げ時）

VL-SWN355KL

（お買い上げ時）

⑨ ドアホンの留守設定をしていないときに自動録画された未再生画像があると表示する

ドアホンの未再生画像があるとき

カメラ※の未再生画像があるとき

⑩ 着信中、通話中、モニター中の機器のマークを表示する
● 画像再生中は、撮影した機器のマーク

機器番号

ドアホン1

カメラ1※

⑪ 通話中（電話を除く）・モニター中に別の機器から呼び出しがあったとき、呼び出してきた機器のマークを表示する（☞ 58ページ）

機器番号

ドアホン1

カメラ1※

⑫ プレストーク通話中に表示する（☞ 21ページ）

電　話

スピーカーホン通話中に表示する（☞ 31ページ）

⑬
ボイスチェンジ中に表示する（☞ 44ページ）

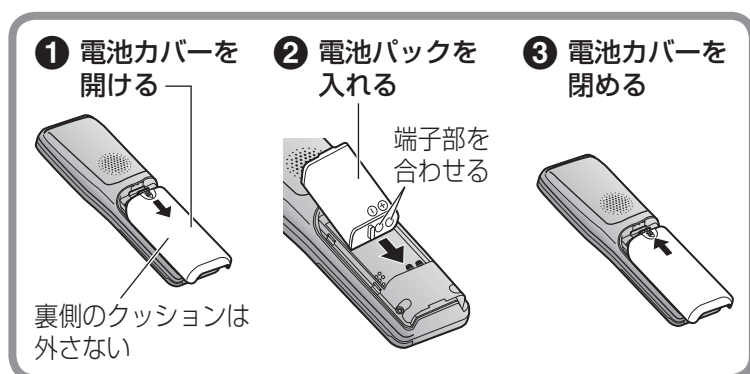
電　話

ミュート中に表示する（☞ 31ページ）

※ドアホン親機に別売のカメラを増設時のみ。

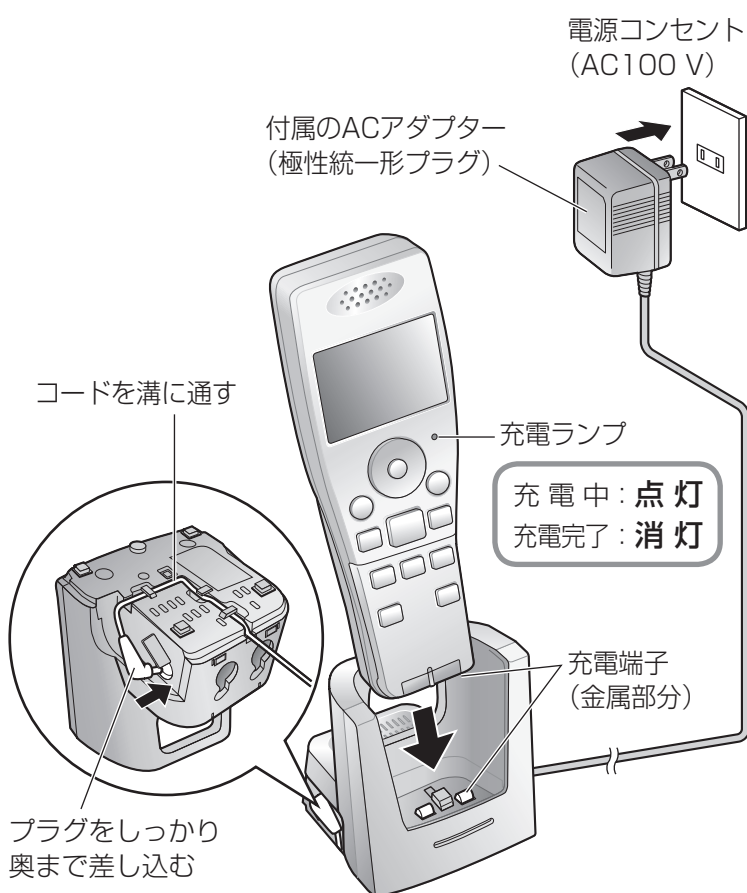
■子機で表示されるドアホンやカメラの映像について
映像は約３秒ごとに更新しながら表示されます。（動画ではありません）

充電する

子機を使うには、充電が必要です。

1 電池パックを入れる

● 電池残量表示は [電池アイコン] になります

2 ACアダプターを取り付ける

3 子機を置き、充電する

➔約8時間で充電が完了し、充電ランプが消灯する

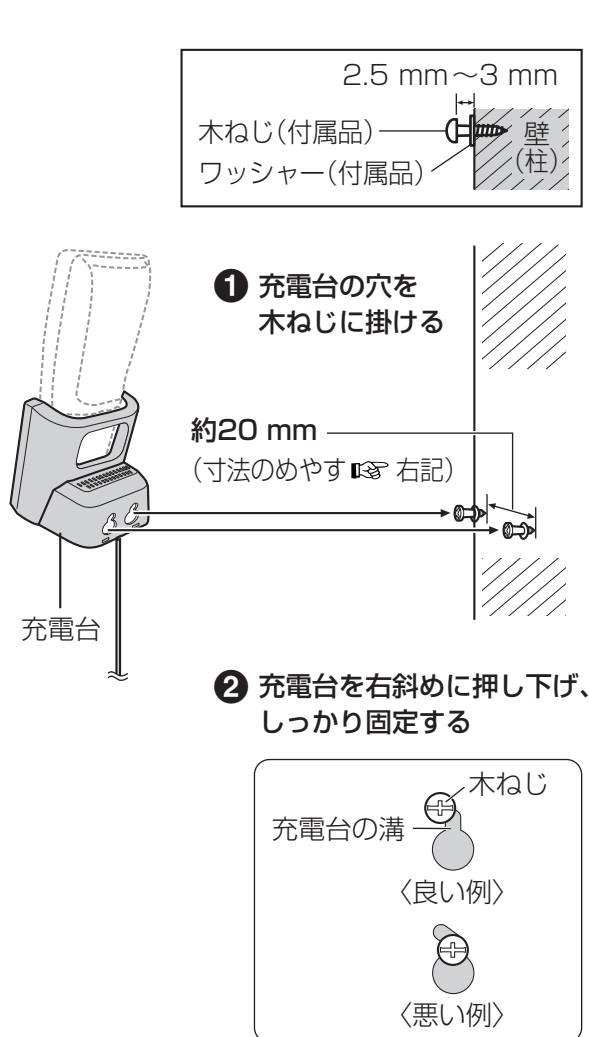
● 途中で子機を使用したりすると、充電時間が長くなります
● 充電台は、子機の電波表示が圏外（☞ 14ページ）にならない場所に設置してください（圏外の場所では、充電時間が長くなります）
● 子機は充電台に置いたままでも過充電しないようになっています

お願い

● 充電端子が汚れたときはふいてください。（☞ 65ページ）
● 1週間以上、子機を充電台から外したり、ACアダプターを抜くときは、電池パックを外してください。（電池パックの性能維持と電池消耗を防ぐため）➔ 次に使うときは充電してください。

お知らせ

● VL-SWN355KLの場合、電池パックを入れて約3分間は、子機をドアホン親機やファクス親機に近づけても電波表示が圏外になることがあります。
➔ドアホンと電話の両方の機能が使えるように準備を行っているためで、故障ではありません。

充電台を壁(柱)に掛けるとき

1 **付属の木ねじ・ワッシャーを壁(柱)に取り付け、充電台を引っ掛けて固定する**

充電台の壁掛寸法のめやす

約 20 mm

⚠ 注意

壁掛けにするときは、落下しないようにしっかりと取り付ける

落下により、破損やけがの原因になることがあります。

● 石こうボード、ALC(軽量気泡コンクリート)、コンクリートブロック、厚さ18 mm以下のベニヤ板など、強度の弱い壁は避け、指定の方法で取り付けてください。

電話/ファクスの子機として使うとき (VL-SWN350KLのみ)

増設可能な電話/ファクスと制限事項について

■ 増設可能な電話/ファクス（2008年6月現在）

●コードレス電話機
品番：VE-GP03、VE-GP05、VE-GP10、VE-GP20、VE-GP22、
VE-GP30、VE-GP31、VE-GP32、VE-GP50、VE-GP51、
VE-GP52、VE-GP62 シリーズ

●パーソナルファクス
品番：KX-PW503、KX-PW505、KX-PW506、KX-PW507、KX-PW513、
KX-PW603、KX-PW605、KX-PW606、KX-PW607、KX-PW616 シリーズ

■ 下記に記載した子機の機能は、増設した親機によっては使えません

親機の品番 / 制限される子機の機能	コードレス電話機							パーソナルファクス		
	VE-							KX-		
	GP03 GP05	GP10	GP20 GP22	GP30	GP31 GP50 GP51	GP32 GP52	GP62	PW503	PW505 PW513 PW603	PW506 PW507 PW605 PW606 PW607 PW616
通話録音 （☞ 32ページ）	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○
通話拒否 （☞ 33ページ）	×	×	○	×	○	○	○	×	×	○
親機への電話帳転送 （☞ 38ページ）	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
内線電話の音声呼出 （☞ 34ページ）	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○
簡単取り次ぎ※	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×
ファクス受信 （☞ 39ページ）	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○
用件再生中の聞き直し※	×	○	○	×	×	○	×	×	×	×

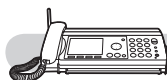
※の付いた機能については、増設した電話/ファクス親機の取扱説明書をお読みください。

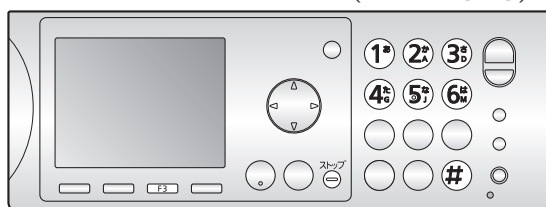
お願い

● **子機を電話/ファクス親機に登録してドアホン/電話両用で使うときは、設置場所にご注意ください。ドアホン親機と電話/ファクス親機が離れすぎていたり、間に障害物などがあると、子機の電話機能が使えなくなります。（☞ 9ページ）**

子機を電話/ファクス親機に登録する(増設)

電話/ファクス親機の操作はKX-PW616の例です。その他の機種の場合は、それぞれの取扱説明書をお読みください。

● 子機を初めて使うときは、増設の前に約30分間充電してください。(☞ 16ページ)

電話/ファクス親機の操作

(KX-PW616)

1 電話機コードを抜く

● 「電話機コードを接続してください」が表示されているときは、ストップ(電話機は[取消]ボタン)で表示を消してください

2 機能 F3 を押し、# 1 2 3 を押す

子機増設

3 決定 F3 を押す

増設番号 [. 23456]

● 空いている番号のみ表示

4 増設する子機番号(2 ～ 6)を押す

続けて、約2分以内に子機を操作する

増設する子機の操作

5 機能 を押す

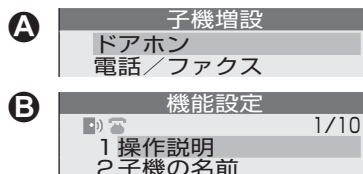
● 下記のどちらかを表示

Ⓐ
子機増設
ドアホン
電話/ファクス

Ⓑ
1/10
1 操作説明
2 子機の名前

■Ⓐの場合

① 続けて [上下] で[電話/ファクス]を選び、決定 を押す

■Ⓑの場合

① 続けて [上下] で[子機増設]を選び、決定 を押す

② [上下] で[電話/ファクス]を選び、決定 を押す

6 決定 を押す

ファクス登録完了

● 終わったら、電話/ファクス親機の電話機コードを接続する

お知らせ

● 増設後の約3分間は、子機をドアホン親機や電話/ファクス親機に近づけても電波表示が圏外になることがあります。
➔ ドアホンと電話の両方の機能が使えるように準備を行っているためで、故障ではありません。

● 2台以上の子機(VL-W606)をドアホン/電話両用で使う場合、子機はすべて同じ電話/ファクス親機に登録してください。

呼び出しに応答する

呼び出してきたドアホンのマーク

1

ドアホンから呼び出しがあると

呼出音が鳴り、相手の映像が映る

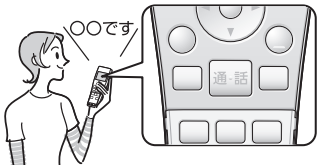
- 映像は静止画で、約3秒ごとに更新しながら表示される
- **逆光で顔が暗く映って見えにくいとき**
  ➔ 右ページの「逆光補正」をすると、見えやすくなります

2

応答する（相手と話す）には

通話 を押す

約50 cm以内で
相手と交互に話す
（スピーカーホン通話）
●同時に話すと声が途切れる

3

終わったら、

終了 を押す

お知らせ

- **着信時の映像は、ドアホン親機に自動で録画されます。**（☞「ドアホン親機編」24ページ）
- 呼び出しは約30秒、通話は約90秒で自動的に終了し、映像が消えます。
- **通話中に別の呼び出しがあったとき（☞ 58、59ページ）**
- 電子レンジや無線LAN機器などが動作すると、その電波の影響を受け、映像が乱れることがあります。（☞ 68ページ「困ったとき」）

通話中・モニター中の機能

画面の明るさを変える

 明るさ を押す → で[明るさ]を選ぶ → を押す → で変更する ※

※ 別売のドアホンなど、接続した機器によっては、この操作は不要です

受話音の大きさを変える

 音量/検索 を押して**大きく**　 音量/検索 を押して**小さく**

ドアホンの逆光補正をする

 機能 を押す → で[逆光補正]を選ぶ → を押す → で「ON」にする

●別売のドアホンで逆光補正機能がない場合、この操作はできません

ドアホンのLEDライトを点灯/消灯する

 機能 を押す → で[照明]を選ぶ → を押す → で「ON」または「OFF」にする

●別売のドアホンでLEDライトがない場合、この操作はできません

録画・録音する

 録画 を押す

●詳しくは（☞ 24ページ）

自分の声を低く変える（ボイスチェンジ）

●通話中のみ

 ボイスチェンジ を押す（画面に ボイスチェンジ と表示）

●詳しくは（☞ 44ページ）

送話と受話を切り替えて話す（プレストーク通話）

●自分や相手の周囲が騒がしく通話しにくいときに

「ピッ」と鳴るまで 通話 を約2秒間押す（画面に プレストーク と表示）

■話すとき（送話）

通話 **を押したまま話す**

■聞くとき（受話）

通話 **から指を離す**

● 通話 を押している間は、相手の声が聞こえません

お知らせ

●ボイスチェンジやプレストーク通話は、通話終了後に解除されます。

通話を転送する

ドアホンとの通話は、ドアホン親機やドアホン機能が使える別の子機にのみ転送できます。

● VL-SWN355KLの場合、ファクス親機への転送はできません。

だれかきたよ

転送する側

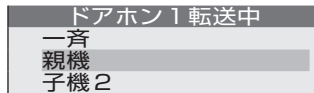
受ける側

1

ドアホン通話中に、

室内呼 を押し、転送先の相手に呼びかける

● ドアホンの映像が消え、通話 が点滅

子機が2台以上のとき

で転送先を選び、決定 を押したあと、相手に呼びかける

子機から呼び出しがあると、「プー」音や呼びかけが聞こえる

■ ドアホン親機で受けるとき

通　話 を押して話す

■別の子機で受けるとき(例:VL-W606)

通話 を押して話す

2

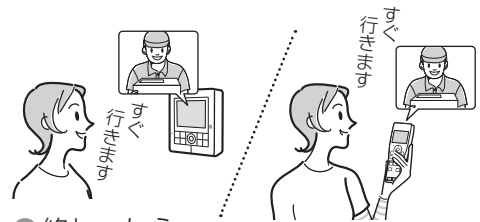
相手が出たら、

通話を転送することを伝え、

終了 を押す

● 転送先との通話が切れ、転送先の相手がドアホンと通話できる

ドアホンの映像が映ったら、

ドアホン側の相手と話す

● 終わったら、

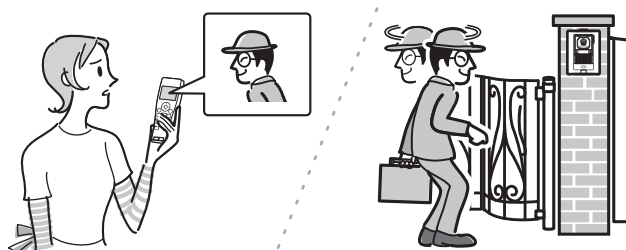
〈ドアホン親機の場合〉 終　了 を押す

〈子機の場合〉 終了 を押す

お知らせ

● 転送先の相手が出ないときなど、ドアホンとの通話に戻るには ➔ 通話 を押す

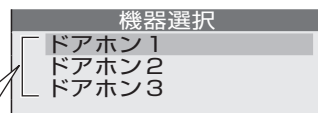
● 転送先の相手と通話中の音声は、ドアホン側の相手には聞こえません。

ドアホン側の様子を見る （ドアホンモニター）

モニター中のドアホンのマーク

■モニター中の機能
（☞ 21ページ）

1 モニター を押す

- 映像が表示される
- 下記の画面が出たときは、 で
  モニター先を選び、 決定 を押す

機器選択
ドアホン１
ドアホン２
ドアホン３

ドアホン親機でドアホンの名前を変更したときは、その名前を表示
（☞「ドアホン親機編」47ページ）

選択した場所の映像が表示される

ドアホンモニター中は…

映像とともに周囲の音が聞こえますが、こちらの声はドアホン側には聞こえません。

- ドアホン側の相手と話すには
  通話 を押す

2 終わったら、 終了 を押す

お知らせ

- モニターは約90秒で自動的に終了します。
- **モニター中に別の呼び出しがあったとき（☞ 58、59ページ）**

在宅時に手動で録画・録音する

来客時の映像はドアホン親機に自動で録画されますが、子機でも、着信中・通話中・モニター中のドアホン映像を、必要に応じて録画できます。

- ドアホン通話中やモニター中は録音もされるので、音声付きの画像として録画できます。
- 録音時間は約20秒間(固定)です。
- 録画した画像はすべて、ドアホン親機に記録されます。
- 自動録画など、録画機能の詳細は「ドアホン親機編」24ページをお読みください。

1 映像表示中、録画をしたいときに

[録画] を押す

例)

- 音声付き画像の録音中に表示され、終了すると消える
- 画像のみの録画の場合は、画面中央に「録画中」と表示される

お知らせ

- ドアホン親機の「ドアホン録画数」の設定が「8枚」の場合、録画時に約１秒おきの映像を8枚録画します。録画枚数は「1枚」に変更することもできます。(☞「ドアホン親機編」45ページ)
- [録画] を押してから録画されるまで時間差が生じます。
  このため [録画] を押したときの映像と実際に録画された画像が異なることがあります。
- 手動で録画した画像は、再生済み扱いになります。
- 次の場合は録音ができないため、通話中やモニター中でも、画像のみを録画します。
  - すでに録画された画像の中に、未再生の音声付き画像(留守録画)と保護設定した音声付き画像が合計25件あるとき(ドアホン親機の留守ランプが速く点滅しています)
- 録音中に別の機器から呼び出しがあったとき、呼び出しに応答すると録音が中止されます。

留守設定して録画・録音する

子機の操作で、ドアホン親機の留守設定/解除ができます。留守設定すると、留守中の呼び出し映像を「留守録画」としてドアホン親機に記録します。（詳細は☞「ドアホン親機編」26～29ページ）

お出かけ前に、留守設定する

1 **を押す**

留守設定
再生後に留守解除

下記の表示が出たとき

ドアホン留守
電話留守

 で[ドアホン留守]を選び、決定 を押す

2 **で[留守設定]を選び、****を押す**

●「ピー」と鳴って留守設定され、待ち受け画面に戻ると ドアホン が表示される

帰ってきたら、留守解除する

新しい留守録画があるときは、待ち受け画面に ドアホン が表示されます。

1 上記の手順1を行い、 で[再生後に留守解除]を選ぶ

2 **を押す**

■**新しい留守録画なし**

➔「ピー」と鳴り、留守解除される

■**新しい留守録画あり**（下記の表示が出る）

➔ 手順3へ

留守録画を再生します
すべての録画を再生後
留守解除します

3 留守録画を再生するには

 を2回押す

●日時の最も古い画像が表示される（8枚録画の場合は1枚目を表示）

■ **8枚録画を再生（コマ送り）するには**

 を押す（押すごとに1枚ずつ表示）

■**画像が2件以上あるとき、次の画像を見るには**

 を押す（押すごとに日時の古い順に表示）

●再生画面の見かたや再生中の機能は（☞ 27ページ）

●すべての留守録画を再生すると、留守設定が解除される

下記の表示が出たとき

未再生画像があります
確認してください

在宅時の自動録画で未再生画像があります。再生は（☞ 26ページ手順1へ）

4 終わったら、

終了 **を押す**

お知らせ

●留守応答中も、通話 を押してドアホンの相手と通話できます。（録音は途中で止まり、録画した画像は再生済み扱いになります）

●一度再生した留守録画は、他の再生済み画像と一緒に記録されます。もう一度再生するには、26ページの手順で再生してください。（音声付きの場合、音声再生の途中で再生をやめたときも、その画像は再生済み扱いになります）

画像を再生する

ドアホン親機に記録されている画像を、子機でも再生できます。

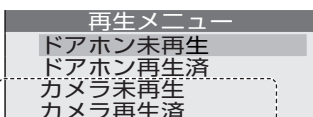
●在宅時に自動録画された未再生の画像があるときは、待ち受け画面に下記のマークが表示されます。下記の操作で未再生の画像をすべて再生すると、表示が消えます。

：ドアホンの未再生画像あり ：別売のカメラの未再生画像あり

●新しい留守録画があるときに下記の操作をすると、最初に留守録画の再生画面になります。留守録画を再生したあと、他の未再生画像などを再生してください。

1 再生 を押す

再生メニュー
ドアホン未再生
ドアホン再生済
カメラ未再生
カメラ再生済

カメラ増設時のみ表示（カメラ未再生・カメラ再生済）

新しい留守録画があるとき

（留守録画の再生画面になる）

留守録画を再生します

① 決定 を2回押す（画像が表示される）

② ◀▶ や ▲▼ で留守画像を再生する

（すべての留守画像を再生すると再生メニューが表示される）

2 ▲▼ で再生したい項目を選ぶ

●画像がない項目はグレーの文字で表示され、選べません

3 決定 を押す

ドアホン未再生： 5件
[▼▲]で画像送りができます

4 決定 を押す

●日時の最も新しい画像が表示される（８枚録画の場合は１枚目を表示）

■８枚録画を再生(コマ送り)するには

▶ を押す（押すごとに１枚ずつ表示）

■音声付き画像で音声を再生するには

再生 を押す

■画像が２件以上あるとき、次の画像を見るには

▼ を押す（押すごとに日時の新しい順に表示）

●再生画面の見かたや再生中の機能は（☞ 右ページ）

5 終わったら、

終了 を押す

再生画面の見かたと再生中の機能

撮影した機器のマーク

音声付き画像のときに表示

停止中：音声停止中　再生中：音声再生中

Ⓐ（☞ 下記「お知らせ」）

操作ガイド

8枚録画のとき、何枚目かを表す（例：2枚目）

☆未再生　5 7/10 16:00

◎画像メニュー ▶次のコマ

5 - 2

◀前のコマ ◎画像メニュー ▶次のコマ

画像の状態を表示

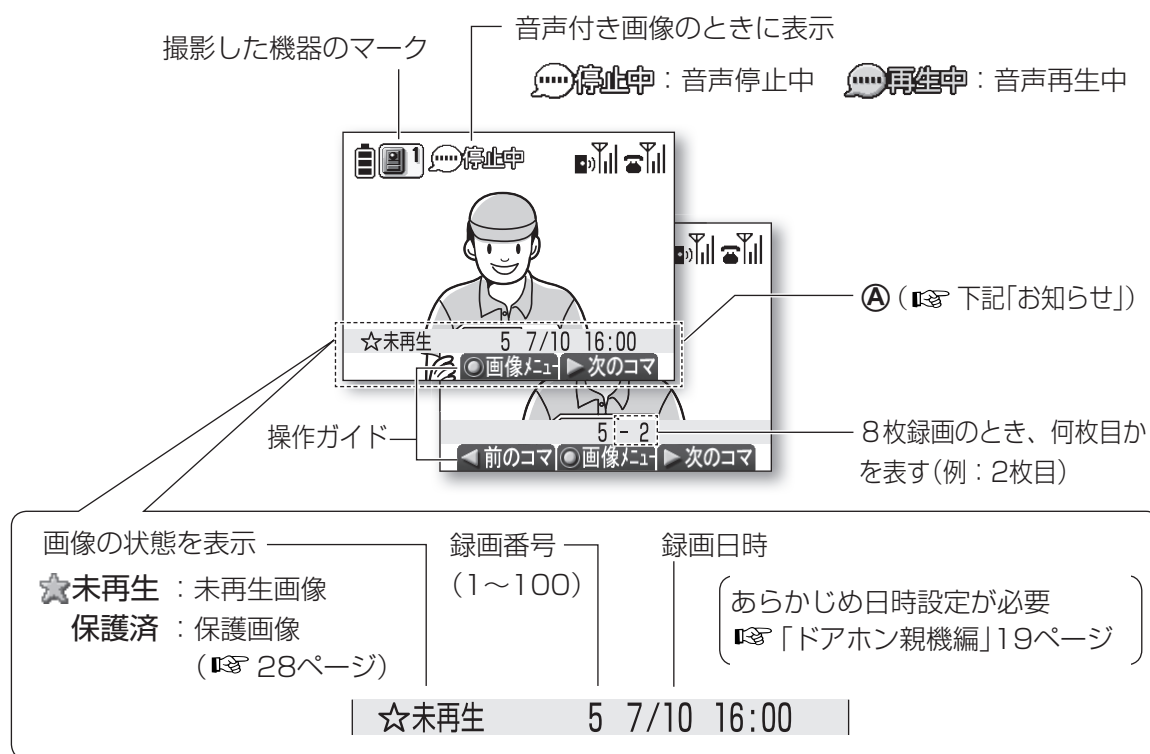
☆未再生 ：未再生画像

保護済 ：保護画像（☞ 28ページ）

録画番号（1～100）

録画日時

あらかじめ日時設定が必要 ☞「ドアホン親機編」19ページ

☆未再生　5 7/10 16:00

再生中の機能

操作ボタン	操作ガイド	機能説明
◀	前のコマ	8枚録画の再生中、1コマ（1枚）戻す
▶	次のコマ	8枚録画の再生中、1コマ（1枚）送る
▲▼	（表示なし）	画像が2件以上あるとき、1件単位で画像を送る（または戻す） • 押し続けると、早送り／早戻しができる （ただし、25ページの留守録画再生時を除く）
決定	画像メニュー	再生中の画像を、保護または消去する（☞ 28ページ）
再生	（表示なし）	音声付き画像のとき、音声を再生する 再生中の音声を、用件の頭から聞き直す
機能 明るさ	（表示なし）	明るさを変更する（◀▶ で変更）

お知らせ

- 再生中の音量は、21ページの「受話音の大きさ」の設定に連動します。（再生中は変更できません）
- 8枚録画の画像で8枚録画できなかったときは、コマ送り再生中に「画像中断がありました」と表示して、1枚目に戻ります。
- 「録画日時表示」の設定（☞ 51ページ）を「3秒表示」にすると、上記画面表示のⒶ部分を約3秒間だけ表示させたあと、自動で消すことができます。

画像を保護または消去する

録画した画像がいっぱいになると、古い画像から自動更新で消去されます。(☞「ドアホン親機編」29ページ)消したくない画像は保護してください(最大20件)。不要な画像の消去もできます。

- 保護設定や個別消去は、画像再生中に行います。
- すべての画像を一度に消去したいとき(☞「ドアホン親機編」48ページの「画像全消去」)

1

画像再生中に

(画像メニュー)を押し、で

[画像を保護する]または[画像を消去する]を選ぶ

画像メニュー
画像を保護する
画像を消去する

保護画像のときは「保護を解除する」と表示される

2

[画像を保護する]を選んだとき

 を押す

- 「保護済」と表示される

[画像を消去する]を選んだとき

① **を押し、** (決定) **で[はい]を選ぶ**

消去しますか
はい
いいえ

② (決定) **を押す**

- 消去が終わると、次の画像が表示される

3

終わったら、

(終了) **を押す**

■保護を解除するとき

① 保護画像を再生中に
(決定)(画像メニュー)を押し、
で[保護を解除する]を選ぶ

② (決定) を押す

- 「保護済」の表示が消える

お知らせ

- 保護設定(解除)や消去は1件単位で行われます。(8枚録画の場合は8枚すべてを保護または消去)
- 保護件数が20件になると、それ以上保護できません。別の画像の保護を解除してから保護設定してください。

ドアホン親機や別の子機と話す （ドアホン室内通話）

ドアホン親機、またはドアホン機能が使える別の子機と通話ができます。

呼び出す側

受ける側

子機から呼び出しがあると、「プー」音や呼びかけが聞こえる

1 室内呼 を押す

下記の表示が出たとき

で［ドアホン室内呼］を選び、

決定 を押す

■子機が2台以上のとき

で相手を選び、決定 を押す

■ドアホン親機で受けるとき

通 話 を押して話す

■別の子機で受けるとき（例:VL-W606）

通話 を押して話す

2 相手に呼びかける

3 相手が出たら、話す

- 受話音の大きさの変更やプレストーク通話もできる（☞ 21ページ）

4 終わったら、

終了 を押す

お知らせ

- 呼び出しは約30秒、通話は約90秒で自動的に終了します。
- **通話中に別の呼び出しがあったとき（☞ 58、59ページ）**

電話をかける／受ける

フリップ
- ダイヤルするとき開ける
- 閉じたとき、電話を切るように設定もできる（☞ 52ページ）

■ **通話中の機能**
（☞ 32ページ）

かけるとき

1 充電台から子機を取り、
を押し、フリップを開けてダイヤルする

2 **話す**

3 終わったら、
終了 を押す（フリップを閉じて充電台に戻す）

受けるとき

1 充電台から子機を取る、または
を押し、話す

2 終わったら、
終了 を押す（充電台に戻す）

お知らせ

● **電話をかけるとき**
- 「ツー」音が聞こえてからダイヤルしてください。
- 電話番号に184 や186 をつけてかけるとき
  1 8 4（または 1 8 6）➔ ポーズ ➔ 電話番号 ➔ を押す
- 構内交換機に接続しているとき
  外線発信番号 ➔ ポーズ ➔ 電話番号 ➔ を押す
- ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するとき
  相手につながったあと ＊（トーン）を押す
- 表示される通話時間はめやすです。
  通話料金は相手が電話に出てからかかります。
  （例） 通話時間 0:00:30

● **電話を受けるとき**
- 通 話 を押しても受けられます。
- VL-SWN355ＫＬの場合や、VL-SWN350ＫＬでファクス親機に増設しているとき
  - 電話に出ても「ポーポー」音や無音のときは、ファクスが送られてきています。（☞ 39ページ）
  - ファクス親機がプリント中は、子機では電話に出られません。

● **通話中に別の呼び出しがあったとき（☞ 60、61ページ）**

■いろいろなかけかた

スピーカーホン通話に切り替える

相手の声をスピーカーから聞きたいときは、下記の操作で切り替えてください。
話すときは、送話口に向かって話します。(約50 cm以内)

① **通話中に　を約2秒間押す**(画面に SPﾎﾝ と表示)

- 受話口での通話に切り替えるには、再度　を約2秒間押す
- 天気予報など相手の声を聞くだけの場合に、周囲の音で相手の声が途切れるとき
  ➔ フリップを閉じて※ ボイスチェンジ を約2秒間押す(ミュート：画面に ﾐｭｰﾄ と表示)
  - ミュートを解除するには ボイスチェンジ を押す

  ※52ページの「フリップ閉設定」が「電話を切る」のときは、電話が切れます。

電話をかける／受ける

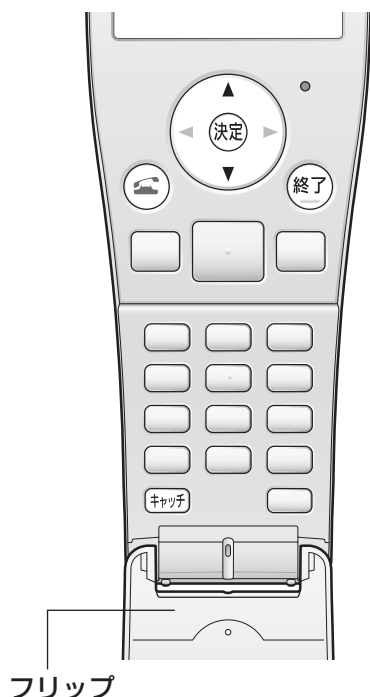
通話中の機能

受話音の大きさを変える	音量/検索 を押して **大きく**　 音量/検索 を押して **小さく**
相手の声の音質を変える（ボイスセレクト）	決定（電話メニュー）を押す ➔ で［ボイスセレクト］を選ぶ ➔ 決定 を押す ➔ で受話音質を選ぶ ●詳しくは（☞ 45ページ）
自分の声を低く変える（ボイスチェンジ）	ボイスチェンジ を押す（画面に ボイスチェンジ と表示） ●詳しくは（☞ 44ページ）
相手に待ってもらう（保留）	室内呼 保留転送 を押し、終了 を押す（通話に戻るときは 通話 を押す） ●4秒ごとに「ピーッ」と鳴る ●保留中は相手に電話/ファクス親機の保留音が流れる
キャッチホンを受ける（NTTとの契約が必要）	フリップを開けて キャッチ を押す **■元の相手との通話に戻るとき** キャッチ を押す **■キャッチホンでファクスが来たとき** （電話メニュー） ➔ で［ファクス受信］を選ぶ ➔ 決定 ●元の相手との通話は切れる
通話を録音する ●スピーカーホンでの通話ではできません	決定（電話メニュー）を押す ➔ で［通話録音］を選ぶ ➔ を押す ➔ で［はい］を選ぶ ➔ を押す　（やめるときは を押す） **■録音した通話をあとから聞くとき（待ち受け中に操作する）** ➔ で［電話留守］を選ぶ ➔ ➔フリップを開ける ➔ 4 ●留守番電話の用件も同時に再生されます（☞ 40ページ） ●電話/ファクス親機で聞くには、電話/ファクス親機の取扱説明書をお読みください

迷惑な電話をお断りする　通話拒否

メッセージを流して通話を拒否する

呼出音が鳴っているときや通話中に通話拒否の操作をすると、相手に通話を拒否するメッセージを流し、電話が切れます。

● 通話拒否についての詳細は、ご使用の電話/ファクス親機の取扱説明書をお読みください。
（VL-SWN355KLの場合は☞「ファクス親機編」31、32ページ）

1 呼出音が鳴っているとき、または通話中に

（）を押し、 で
[通話拒否]を選ぶ

2 を押し、 で[はい]を選ぶ

3 を押す

● 相手にメッセージが２回流れ、電話が切れる
● ナンバー・ディスプレイサービスを利用しているときは（☞ 下記）

4 を押す

● メッセージの途中で押しても最後まで流れる

■ **ナンバー・ディスプレイサービス（契約が必要）を利用しているときは、通話拒否したあと、今後、電話を受けないようにすることができます**

迷惑登録しますか　または　拒否設定しますか　を表示中に で[はい]を選ぶ ➔ を押す

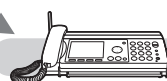
● 電話番号を通知してきた相手、非通知の相手、公衆電話の相手、表示圏外の相手によって、着信拒否が設定されます。

お知らせ

● 通話拒否中は、スピーカーから通話拒否メッセージと相手の声を聞くことができます。
音量を変えるには ➔ を押す
● 呼出音が鳴っているときに通話拒否の操作をした場合は、メッセージ中に を押すと、電話に出ることができます。
● 通話中に通話拒否の操作をした場合は、メッセージ中に を押すと、通話に戻ることができます。
● 電話をかけたときは使えません。
● キャッチ を押してキャッチホンを受けたときや、キャッチホン・ディスプレイをご利用時、通話中にキャッチホンが入ると、上記機能は、はたらきません。

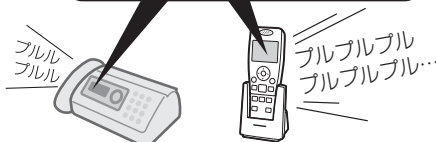
電話/ファクス親機や別の子機と話す （電話内線通話）

電話/ファクス親機、または電話機能が使える別の子機と通話ができます。

呼び出す側

受ける側

1 充電台から子機を取り、

室内呼 を押し、 で[電話内線]を選ぶ

室内呼／内線
ドアホン室内呼
電話内線

2 **決定 を押し、フリップを開けて相手の内線番号を押す**

- 電話/ファクス親機　：0
- 子機　：1 ～ 6
- すべての子機と電話/ファクス親機　：＊

■**電話/ファクス親機で受けるとき**

受話器を取って話す

■**別の子機で受けるとき**（例：VL-W606）

充電台から子機を取る、または

通話 を押して話す

3 相手が出たら、

話す

4 終わったら、

終了 を押す

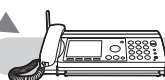
お知らせ

● **内線通話するときや電話をまわすとき**
- スピーカーホンでの通話はできません。
- **ご使用の電話/ファクス親機で、「内線呼出」を「音声」にしているとき**
  〈呼び出す側〉 呼び出し操作後、呼出音が2回聞こえたあと、相手に呼びかけてください。
  〈受ける側〉　呼出音（1回）のあと、スピーカーから相手の声が聞こえたら応答してください。
- 子機が1台しかなく、お買い上げ後、一度もドアホンからの呼び出しがない場合は、上記手順2や右ページの手順1で、内線番号を押す操作は不要です。
  （自動的に電話/ファクス親機を呼び出します）

● **通話中に別の呼び出しがあったとき（☞ 60、61ページ）**

電話をまわす

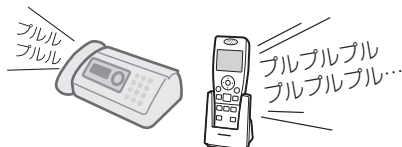
電話/ファクス親機、または電話機能が使える別の子機へ電話をまわせます。
● ドアホン親機を呼び出して電話をまわしたり、3者通話にすることはできません。

まわす側

受ける側

1 外の相手と通話中に、

[室内呼] を押し、フリップを開けて相手の内線番号を押す

- 電話/ファクス親機　：[0]
- 子機　：[1] ～ [6]
- すべての子機と電話/ファクス親機　：[＊]

● 外の相手には曲が流れる

■電話/ファクス親機で受けるとき

受話器を取って話す

■別の子機で受けるとき（例：VL-W606）

充電台から子機を取る、または

[通話] を押して話す

2 相手が出たら、

電話をまわすことを伝える

3 **[終了] を押す**

■外の相手と親機と3人で話すとき（3者通話）

[室内呼] を押す

外の相手と話す

● 終わったら、

〈電話/ファクス親機の場合〉受話器を戻す

〈子機の場合〉[終了] を押す

電話をまわすとき

● ボイスチェンジやミュートを使っているときは、電話をまわす操作をすると解除されます。

■まわす相手が出ないとき

[外線] を押す（外の相手との通話に戻る）

■まわす相手が近くにいるとき

① [室内呼] を押し、[終了] を押す

② まわす相手に声をかける

➔〈電話/ファクス親機〉受話器を取る

➔〈まわす相手の子機〉 を押す

電話帳に登録する

最大150件まで登録できます。

- 電話帳で電話をかけるには（☞ 31ページ）
- 登録済みの相手先を、電話/ファクス親機へ転送するには（☞ 38ページ）

1 ▶ を押し、決定（登録）を押す

2 フリップを開けて [1]〜[0] で名前を入力する

（全角10文字／半角20文字まで）

- 文字入力・漢字変換のしかた（☞ 62、63ページ）

3 決定（登録）を押し、フリガナを確認する

松下　太郎
ﾌﾘｶﾞﾅを入力
ﾏﾂｼﾀﾀﾛｳ

半角12文字まで

- 間違っていれば修正する（修正のしかた ☞ 62ページ）

4 決定（登録）を押し、[1]〜[#] で市外局番から電話番号を入力する

松下　太郎
電話番号を入力
0921234XXXX

24ケタまで

- 間違えたとき ➔ キャッチ クリアー を押す

5 決定（登録）を押し、[1]〜[9] でグループ番号を入力する（1〜9）

グループ＝1

- 入力しないときは、グループ1になる

6 決定（登録）を押す

- 続けて登録するとき ➔ 再度手順2へ
- 終わったら、終了 を押す

■184や186をつけて電話番号を入力するとき

[1][8][4]（または[1][8][6]）のあとに ポーズ を入れる
（ポーズを入れないと誤発信することがあります）

■途中でやめるとき

終了 を押す

■1〜9のグループ番号をつけて登録すると

- グループ別に相手を探して電話をかけられる（☞ 31ページ）
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用すれば、グループごとに呼出音を変えることができる（☞ 43ページ）

■電話帳の登録／修正／消去／確認について

再ダイヤルから登録する	を押す ➔ で相手を選ぶ ➔ 決定(電話メニュー)を押す ➔ で[電話帳に登録する]を選ぶ ➔ 決定 を押す ➔ あとは、左ページの手順2からの操作をする （ただし、電話番号の入力は不要）
修正する	を押す ➔ で修正する人を選ぶ ➔ 決定(電話メニュー)を押す ➔ で[修正する]を選ぶ ➔ 決定 を押す ➔ あとは、左ページの手順2からの操作をする
消去する	を押す ➔ で消去する人を選ぶ ➔ 決定(電話メニュー) を押す ➔ で[1件消去する]を選ぶ ➔ 決定 を押す ➔ で[はい]を選ぶ ➔ 決定 を押す ➔ 終了 を押す ●すべてを消去するには(☞ 52ページ「電話帳全消去」)
登録を確認する	を押す ➔ で確認する ➔ 終了 を押す ● を押すと、次のフリガナ順に表示されます 数字(小さい順) → アルファベット(A～Z) → カナ(ア～ン) → 記号 → 電話番号(名前登録なし) ●よくかける相手を先に表示させたいとき フリガナの前に数字をつけて登録(例:「001ナカムラ」「002イイヅカ」…)すると、数字の小さい順に表示されます

お知らせ

●時報(117)、天気予報(177)、電報(115)、番号案内(104)が、すでに登録されています。(修正・消去もできます)

●VL-SWN355KLの場合、登録した電話帳をファクス親機でプリントすることができます。(☞「ファクス親機編」37ページ)
VL-SWN350KLの場合も、ファクス親機に増設しているときはプリントができます。
詳しくはご使用のファクス親機の取扱説明書をお読みください。

電話帳を転送する

登録した電話帳を、電話/ファクス親機へ個別または一斉に転送できます。

● **子機が2台以上の場合でも、子機から子機への転送はできません。**

子機を電話/ファクス親機の近くに持ってきてから転送してください。

1 **を押し、** **で[電話帳転送]を選ぶ**

9オフフック応答
10フリップ閉設定
11外線鳴り分け
12電話帳転送

2 **決定を押し、で[個別]または[一斉]を選ぶ**

電話帳転送
個別
一斉

3

[個別]を選んだとき

① **決定を押す**

② **で転送する相手を選ぶ**

◀　ア行　▶
赤川　太郎

③ **決定を押す**（転送開始）

● 続けて転送するときは、再度手順②へ

[一斉]を選んだとき

① **を押す**

電話帳転送
一斉転送

② **決定を押す**（転送開始）

4 終わったら、**終了を押す**

お知らせ

● 転送先に同じ内容があるときは追加登録されません。
（名前が同じでも電話番号やグループが違うときは登録されます）

● **全件を一斉に転送したとき** ➔ を押して表示される順に転送（多いと時間がかかります）
➔ 転送先の空き件数がなくなると終了

● VL-SWN350KLの場合
- 増設した電話/ファクス親機の電話帳に登録可能な件数以上は転送できません。
- カタカナ表示の電話/ファクス親機に転送すると、子機の電話帳の「フリガナ」部分が電話/ファクス親機の電話帳の「ナマエ」にカタカナで登録されます。

ファクスを受ける

子機でファクス受信の操作ができます。
（VL-SWN350KLの場合は、ファクス受信できる電話/ファクス親機に増設時のみ）

1 呼出音が鳴ったら、

充電台から子機を取る、または

 を押す

2 通話後、または「ポーポー」音や無音のとき、

 （電話メニュー）を押し、 **で**

［ファクス受信］を選ぶ

3 （決定） **を押す**（受信開始）

お知らせ

● ファクス受信についての詳細は、ご使用の電話/ファクス親機の取扱説明書をお読みください。
（VL-SWN355KLの場合は☞「ファクス親機編」45ページ）

留守番電話

留守番電話を使う

子機の操作で、電話/ファクス親機の留守設定/解除(用件再生)ができます。

- 留守番電話についての詳細は、ご使用の電話/ファクス親機の取扱説明書をお読みください。
（VL-SWN355KLの場合は☞「ファクス親機編」54ページ）

お出かけ前に、留守設定する

1 を押し、 で[電話留守]を選ぶ

ドアホン留守
電話留守

2 決定 を押し、フリップを開けて ＊ を押す

- 「ピー」と鳴り、留守設定される

3 終わったら、終了 を押す

帰ってきたら、留守解除する

1 を押し、 で[電話留守]を選ぶ

2 決定 を押し、フリップを開けて 0 を押す

- 「ピー」と鳴り、留守設定が解除される
- 用件があれば、再生される

3 終わったら、終了 を押す

■留守設定したまま新しい用件を聞く

① 右記の手順1を行い、決定 を押す

② フリップを開けて 2 を押す

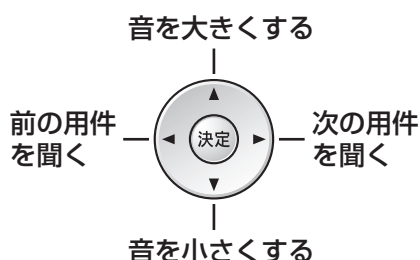
■あとからすべての用件を聞き直す

① 右記の手順1を行い、決定 を押す

② フリップを開けて 4 を押す

お知らせ

- 留守応答中でも、 を押して電話に出ることができます。

用件再生中はこんなことができます

■再生をやめる

を押す（再度聞くには 4 ）

ナンバー・ディスプレイサービスを使う

ナンバー･ディスプレイサービス利用時は、子機でも41～43ページの機能が使えます。

● **ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要です。** 契約や電話/ファクス親機の設定などについては、ご使用の電話/ファクス親機の取扱説明書をお読みください。
(VL-SWN355KLの場合は☞「ファクス親機編」58ページ)

電話を受けるとき／かけるとき

電話がかかってくると…

相手の電話番号を表示

● 電話帳に登録した相手は、名前も表示

外線着信中
松下　太郎
092123XXXX

● ネーム・ディスプレイサービスを使うと、名前(最大10文字)と電話番号を表示※
(電話帳に登録した相手は、電話帳の名前を表示)
- ネーム・ディスプレイで名前が表示されないとき
  ➔ かけてきた相手が名前を表示するようにNTTに申し込んでいないことがあります
- 子機で表示できない漢字があると、自動的に「※」に変わります

相手の電話番号を確認してから電話に出る

● 日時と電話番号を電話/ファクス親機の着信メモリーに記憶
(☞ 42ページ)

※ VL-SWN350KLの場合、ご使用の電話/ファクス親機がネーム・ディスプレイサービスに対応しているときのみ。

■ **こんな表示が出たとき**

表　示	相手がこんなとき	着信メモリー
非通知	電話番号を通知していない	記憶される
公衆電話	公衆電話から	記憶される
表示圏外	海外など番号を通知できない電話	記憶される
ー(表示なし)	回線状態が悪い	記憶されない

● **キャッチホン・ディスプレイサービス契約時は**
キャッチホンでかかってきた電話も相手の番号を表示(約30秒間)し、メモリーに記憶

電話をかけるとき…

自分の電話番号を相手に通知するかしないか(非通知)を選べます

	常に決めておく(回線ごと)	**かけるたびに選ぶ**(通話ごと)
通知するとき	NTTに「通常通知」申し込み	1 8 6 をつけてかける(☞ 30ページ)
通知しないとき	NTTに「通常非通知」申し込み	1 8 4 をつけてかける(☞ 30ページ)

着信メモリー(履歴)を見る・使う

電話/ファクス親機に記憶された着信メモリーを、子機でも見る・使うことができます。
●ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要です。

■着信メモリーをすべて消去するとき

① (▲▼) を押す

② 決定(消去)を押し、(▲▼) で[はい]を選ぶ

③ 決定 を押す

1 (▲▼) を押す

電話に出なかった件数

着信メモリーの件数

着信メモリー検索	
新規履歴(＊)	3 件
着信履歴	5 件

2 (▲▼) を押す

電話に出なかったときに表示

電話帳の相手なら名前も表示

●押すごとに新しい順に表示

3

電話をかけるとき

(☎) を押す

電話帳に登録するとき

① 決定(電話メニュー)を押し、(▲▼) で[電話帳に登録する]を選ぶ

② 決定 を押し、36ページの手順2から操作する

(ただし、電話番号の入力は不要)

消去するとき

① 決定(電話メニュー)を押し、(▲▼) で[1件消去する]を選ぶ

② 決定 を押し、(▲▼) で[はい]を選ぶ

③ 決定 を押す

4 終わったら、終了 を押す

相手によって呼出音を変える (外線着信鳴り分け)

電話帳のグループ(事前に登録が必要 ☞ 36ページ)・非通知・公衆電話・表示圏外ごとに変えられます。

●**ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要です。**

1 **を押し、で**
[外線鳴り分け]を選ぶ

機能設定
11/16
8録画日時表示
9オフフック応答
10フリップ閉設定
11外線鳴り分け

2 **(決定)を押す**

3 **で鳴り分けする**
グループを選ぶ

外線鳴り分け
グループ1
未登録

4 **(決定)(変更)を押し、で**
[ベル]または[メロディ]を選ぶ

5 **(決定)を押し、** **で音を選ぶ**

(例:ベルのとき)

ベル
ベル1
ベル2
ベル3
ベル4
ベル5

●選んだベルやメロディが流れる
●呼出音の種類は(☞ 48ページ)

6 **(決定)を押す**

●「ピー」と鳴り、手順3の画面を表示

7 終わったら、
(終了)を押す

■鳴り分けを解除するには
手順4で「登録しない」を選ぶ

お知らせ

●キャッチホン・ディスプレイをご利用時、通話中にキャッチホンが入っても外線着信鳴り分けははたらきません。
●電話帳に登録していない電話番号からかかってくると、48ページで設定した呼出音が鳴ります。外線着信鳴り分けで、これと同じ呼出音を選ぶと、区別がつかなくなります。
➔ 上記の鳴り分け設定では、48ページで設定した呼出音以外を選ぶことをお勧めします。

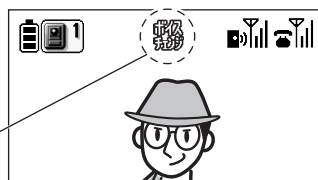
お好み設定

自分の声を低く変える ボイスチェンジ

ドアホン通話や電話※の際に、女性などの高い声を男性のような低い声に変えられるので、迷惑な相手に対応するときなどに便利です。

※ VL-SWN350KLの場合は、電話/ファクス親機に増設時のみ。

1 通話中に、

[ボイスチェンジ] を押す

● 画面に [ボイスチェンジ] が表示され、相手に聞こえる声が低くなる

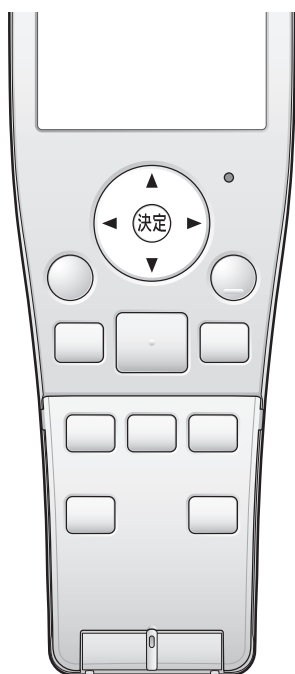
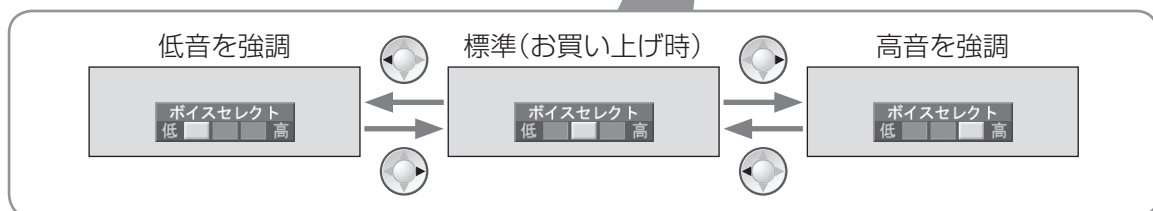
（再度 [ボイスチェンジ] を押すと消え、元の声に戻る）

お知らせ

- 通話が終わると解除されます。
- 声の高さは2段階で、設定により変更できます。（☞ 51ページ）
- **下記の場合は、ボイスチェンジがはたらきません。**
  - ドアホン室内通話中（☞ 29ページ）
  - 電話をかけたとき
  - 電話をかけて通話中に、キャッチホンでかかってきたとき
  - 並列電話機で受けた電話に、あとで子機で出たとき
    （並列電話機について☞ VL-SWN355KLの場合は「ファクス親機編」91ページ）
  - 子機どうしの電話内線通話中のとき（☞ 34ページ）
- 外線通話で、ボイスチェンジを使っていないときに [ボイスチェンジ] を約2秒間押すと、相手にこちらの声が聞こえなくなります。（ミュート☞ 31ページ）
  再度押すと、ミュートは解除されます。

お好み設定 相手の声の音質を変える ボイスセレクト

外線通話中は、相手の声の音質(受話音質)を変えることができます。声が聞き取りにくいときなどに有効です。

● VL-SWN350KLの場合は、電話/ファクス親機に増設時のみこの機能が使えます。

お知らせ

● 外線通話でも、スピーカーホン通話中はボイスセレクト機能が使えません。

● ボイスセレクトの設定は、通話が終わっても解除されません。
（次に設定を変更するまで保持されます）

呼出音の大きさを変える 呼出音量

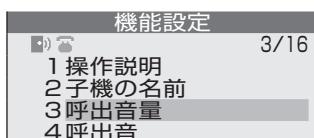
子機で鳴る呼出音量は、下記のようにそれぞれ変更することができます。

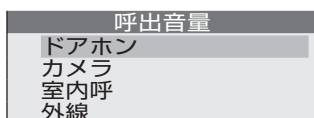
- ドアホンからの呼び出し ：３段階＋「切」
- 別売のカメラからの呼び出し ：３段階＋「切」
- 室内呼び出し（電話内線を含む） ：３段階
- 外線（電話）の呼び出し※1 ：「ステップトーン」※2＋３段階＋「切」

※1 VL-SWN350KLの場合は、電話/ファクス親機に増設時のみ変更できます。
※2 **「ステップトーン」**とは、呼出音量が「小→中→大」で１段階ずつ大きくなる設定です。

1 機能 を押し、 で

[呼出音量]を選ぶ

機能設定
3/16
１操作説明
２子機の名前
３呼出音量
４呼出音

2 決定 を押し、 で

音量を変えたい項目を選ぶ

3 決定 を押し、 で音量を選ぶ

（例）

● 選んだ音量で呼出音が鳴る
- 「切」は「ピピッピピッ」と鳴る
- 外線の場合、ステップトーンは「小」で鳴る

4 決定 を押す

● 「ピー」と鳴り、手順2の画面を表示

5 終わったら、

終了 **を押す**

お知らせ

● 呼出音量は、それぞれの機器からの着信中に を押して変更することもできます。

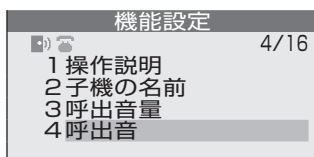
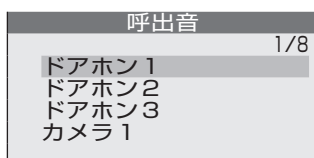
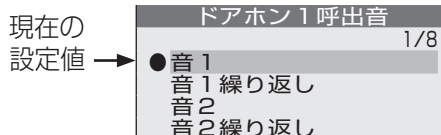
お好み設定

呼出音を変える

ドアホンや別売のカメラからの呼出音

ドアホンや別売のカメラからの呼出音を変更できます。
● ドアホン親機からの呼び出しなど、ドアホン室内呼の呼出音は変えられません。

1 機能 を押し、◎ で[呼出音]を選ぶ

機能設定
4/16
1 操作説明
2 子機の名前
3 呼出音量
4 呼出音

2 決定 を押し、◎ で呼出音を変えたい機器を選ぶ

3 決定 を押し、◎ で音を選ぶ

● 選んだ音が鳴る
●「繰り返し」を選んだ場合も、ここで鳴るのは1回のみ

4 決定 を押す

●「ピー」と鳴り、手順2の画面を表示

5 終わったら、終了 を押す

■ 呼出音の種類

お買い上げ時の設定：ドアホン1「音1」、ドアホン2「音2」、ドアホン3「音3」、カメラ1～4「音A」

ドアホンからの呼出音		別売のカメラからの呼出音	
音1	ピーンポーン	音A	ピポッ
音1繰り返し	ピーンポーン※	音B	ポポポポポポ…
音2	プルルルルルル…	音C	ポーンポーン
音2繰り返し	プルルルルルル…※	音D	ピーンポーン
音3	ポーンポーンポーン		
音3繰り返し	ポーンポーンポーン※		
音4	ピンポーンピンポーン		
音4繰り返し	ピンポーンピンポーン※		

※ ドアホン着信中、約5秒間隔で、それぞれの音を繰り返します。
ただし、「ドアホン側で鳴る音」「通話中に鳴る呼出音」は繰り返しません。

呼出音を変える（つづき）

外線の呼出音

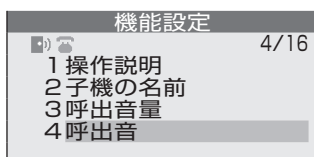
電話がかかってきたとき(外線)の呼出音を変更できます。

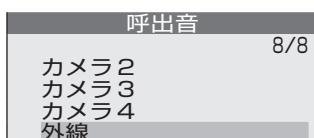
● 電話/ファクス親機からの呼び出しなど、電話内線の呼出音は変えられません。

● VL-SWN350KLの場合は、電話/ファクス親機に増設時のみこの設定ができます。

1 機能 を押し、 で

[呼出音]を選ぶ

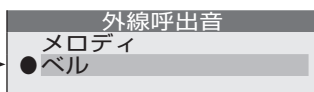
機能設定
4/16
１操作説明
２子機の名前
３呼出音量
４呼出音

2 決定 を押し、 で

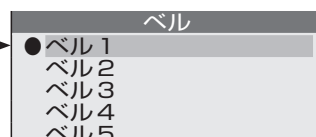
[外線]を選ぶ

3 決定 を押す

4 決定 (変更)を押し、 で

[ベル]または[メロディ]を選ぶ

現在の設定値 →

外線呼出音
メロディ
●ベル

5 決定 を押し、 で音を選ぶ

現在の設定値 →

● 選んだベルやメロディが流れる

6 決定 を押す

● 「ピー」と鳴り、手順2の画面を表示

7 終わったら、

終了 を押す

■ 呼出音の種類

お買い上げ時の設定：「ベル1」

種類	画面表示	内　容
ベル	ベル1～ベル5	5種類のベルがあります
メロディ	JUPITER	JUPITER
	ヴァルキューレ	ヴァルキューレの騎行
	CANTATA	CANTATA（主よ、人の望みの喜びよ）
	クルミ割り人形	くるみ割り人形

子機に名前をつける

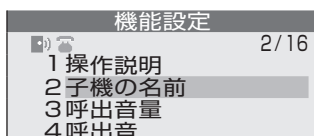
名前を登録すると、待ち受け画面に名前を表示します。(☞ 14ページ)
また、電話の内線呼出(☞ 34ページ)の際、呼び出しを受ける電話/ファクス親機や別の子機のディスプレイに名前を表示します。※
※VL-SWN350KLの場合は、
　電話/ファクス親機に増設時のみ。

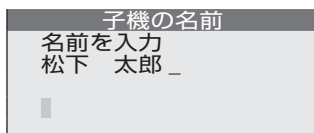
例）
子機１から着信中
松下　太郎

1 機能 を押し、 で
[子機の名前]を選ぶ

機能設定
2/16
1 操作説明
2 子機の名前
3 呼出音量
4 呼出音

2 決定 **を押す**

子機の名前
未登録

3 決定 **(変更)を押し、フリップを開けて、名前を入力する**
(全角6文字／半角12文字まで)

子機の名前
名前を入力
松下　太郎 _

● 文字入力・漢字変換のしかた
(☞ 62、63ページ)

4 決定 **(登録)を押し、フリガナを確認する**

松下　太郎
ﾌﾘｶﾞﾅを入力
ﾏﾂｼﾀﾀﾛｳ

半角8文字まで

● 間違っていれば修正する
(修正のしかた ☞ 62ページ)

5 決定 **(登録)を押す**

●「ピー」と鳴り、手順2の画面を表示

6 終わったら、
終了 **を押す**

お知らせ

● ドアホン室内呼(☞ 29ページ)でドアホン親機や別の子機を呼び出したときは、受ける側のディスプレイに名前は表示されません。
● 電話の内線呼出でも、受ける側が漢字を表示できない機種の場合は、登録したフリガナを表示します。
また、VL-SWN350KLの場合、増設した電話/ファクス親機がKX-PW503のときは、受ける側の子機が漢字を表示できる場合でも、登録したフリガナを表示します。

機能設定一覧表

子機で変更できる機能設定の一覧です。使いかたに合わせて変更してください。

- 変更のしかたはページ下にあります。
  ただし、一覧表中に(設定は ☞ ○○ページ)とあるものは、参照先の手順に従ってください。
- 機能設定中に着信があったときや、約60秒間操作を行わなかったときは、設定が中断されます。
- ［　　］のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容と概要
操作説明	● 子機の操作説明を表示する
子機の名前	● 子機に名前をつける(設定は ☞ 49ページ)
呼出音量	ドアホン　：大、中 、小 、切 カメラ　　：大、中 、小 、切 室内呼　　：大、中 、小 外　線※　：ステップトーン、大、中 、小、切 ● 子機で鳴る呼出音の音量を選ぶ(設定は ☞ 46ページ)
呼出音	ドアホン1　：音1、 音1 繰り返し、 音2 、 音2 繰り返し 音3 、 音3 繰り返し、 音4 、 音4 繰り返し ドアホン2　：音1 、 音1 繰り返し、音2、 音2 繰り返し 音3 、 音3 繰り返し、 音4 、 音4 繰り返し ドアホン3　：音1 、 音1 繰り返し、 音2 、 音2 繰り返し 音3、 音3 繰り返し、 音4 、 音4 繰り返し カメラ1～4：音A、 音B 、 音C 、 音D (カメラ1～4で個別に設定できる) 外線※　ベル　　：ベル1、 ベル2 、ベル3 、ベル4 、 ベル5 メロディ　：JUPITER、ヴァルキューレ、CANTATA、 クルミ割り人形 ● 子機で鳴る呼出音の種類を選ぶ(設定は ☞ 47、48ページ)

※VL-SWN350KLの場合は、電話/ファクス親機に増設時のみ表示されます。

設定を変更するとき

［機能］を押し、 で機能名を選ぶ ［決定］を押し、 で設定内容を選ぶ

機能設定
1/16
1 操作説明
2 子機の名前
3 呼出音量
4 呼出音

● 機能によっては、この操作を繰り返す

機能名	設定内容と概要
キー確認音	ON（出す）、OFF（出さない） ●ボタンを押すたびに鳴る「ピッ」音を出すか、出さないかを選ぶ
ボイスチェンジ	通常、低め ●「低め」を選ぶと、ボイスチェンジの声がさらに低くなる
コントラスト	●子機のモニター画面の表示が見えにくいとき、コントラスト（表示濃度）を5段階で調整する お買い上げ時の設定 → ▲濃い ▼薄い
録画日時表示	常時、3秒表示（画像1件につき、3秒間だけ表示） ●「3秒表示」を選ぶと、録画再生時に画像に重なって表示される録画日時欄と操作ガイドが約3秒後に自動で消える （表示直後） 再生中 ☆未再生 5 7/10 16:00 画像メニュー ▶次のコマ （約3秒経過後） 再生中

機能設定一覧表

 を押す → 終わったら、 を押す

機能設定一覧表（つづき）

●変更のしかたはページ下にあります。
ただし、一覧表中に（設定は ☞ ○○ページ）とあるものは、参照先の手順に従ってください。
●［　　］のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容と概要
オフフック応答※	［ON］、OFF ●「ON」にすると、外線や電話内線の呼び出しのとき、充電台から子機を取るだけで応答できる •「ON」の場合は、ドアホン親機や別の子機からの呼び出し（室内呼）にもオフフック応答ができる ●「OFF」にすると、外線は（外線）、電話内線/室内呼は［通話］を押して応答する
フリップ閉設定※	［電話を続ける］、電話を切る ●「電話を切る」にすると、外線通話中にフリップを閉じて電話を切ることができる
外線鳴り分け※	●ナンバー・ディスプレイサービスを使うとき、相手によって呼出音を変える（設定は ☞ 43ページ） •電話帳のグループ（1～9）、非通知、公衆電話、表示圏外ごとに設定できる
電話帳転送※	●子機の電話帳の内容を電話/ファクス親機に転送する（設定は ☞ 38ページ）
電話帳全消去※	はい、［いいえ］ ●子機の電話帳の内容をすべて消去する

※VL-SWN350KLの場合は、電話/ファクス親機に増設時のみ表示されます。

設定を変更するとき

［機能］を押し、 で機能名を選ぶ → （決定）を押し、（上下）で設定内容を選ぶ

●機能によっては、この操作を繰り返す

機能名	設定内容と概要
動作モード※	ドアホン/電話、ドアホン、電話 ● 電話とドアホンの両方の機能を使う場合は「ドアホン／電話」、ドアホン専用子機として使う場合は「ドアホン」、電話専用子機として使う場合は「電話」を選ぶ
子機増設	● 子機をドアホン親機、電話/ファクス親機に登録する • ドアホン親機に登録するとき（設定は☞「ドアホン親機編」76ページ） • 電話/ファクス親機に登録するとき （VL-SWN350KLの場合、設定は☞ 19ページ VL-SWN355KLの場合、設定は☞「ファクス親機編」86ページ）
設定の初期化	はい、いいえ ● 子機を廃棄・譲渡・返却するときなどに、子機の設定をお買い上げの状態に戻す

※VL-SWN350KLの場合は、電話/ファクス親機に増設時のみ表示されます。

機能設定一覧表

→ を押す → 終わったら、 を押す

別売機器との連携

カメラの映像を見る

ドアホン親機にカメラを接続しているときは、子機でもカメラの映像を見ることができます。

反応したカメラ、またはモニター中のカメラのマーク

カメラのセンサーが反応したとき

1 呼出音が鳴り、カメラの映像が映る

- 映像は、約30秒で自動的に終了する
- もっと見たいとき➔手順2へ

2 [モニター] を押す

- カメラの映像が、約90秒間表示される（こちらの声はカメラ側には聞こえません）
- モニターを途中でやめるには、[終了] を押す

カメラ側の様子を見る（カメラモニター）

1 [モニター] を押し、[▲▼] でモニターしたいカメラを選ぶ

カメラ１
カメラ２

2 [決定] を押す

- 選択したカメラの映像が、約90秒間表示される（こちらの声はカメラ側には聞こえません）
- モニターを途中でやめるには、[終了] を押す

モニター中の機能

■画面の明るさを変える

[機能 明るさ] を押す ➔ [◀▶] で変更

■表示中の映像を録画する

[録画] を押す

お知らせ

- センサー反応時の映像は、ドアホン親機に自動で録画されます。（☞「ドアホン親機編」64ページ）
- 一度センサーが反応すると、約60秒間は次の反応を行いません。
- センサーが反応しても、子機の呼出音を鳴らさないようにしたいとき
  ➔ カメラの「呼出音量」を「切」にする（☞ 46ページ）
  または、ドアホン親機で「鳴り分け」設定や「カメラ呼出消音」設定をする
  （☞「ドアホン親機編」43、44ページ）
- 夜間や逆光などでカメラの映像が見えにくいときは、ドアホン親機でカメラの「明るさ設定」や「逆光補正」の設定を変更してください。（☞「ドアホン親機編」67ページ）
- モニター中に別の呼び出しがあったとき（☞ 58、59ページ）

カメラの映像を手動で録画する

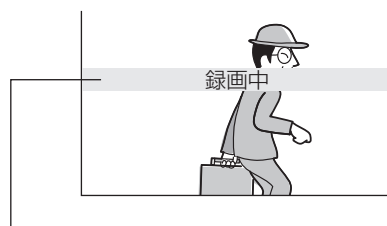
センサー反応時の映像はドアホン親機に自動で録画されますが、子機でも、着信中・モニター中のカメラ映像を、必要に応じて録画できます。

● 自動録画など、カメラ映像の録画の詳細は、「ドアホン親機編」64、65ページをお読みください。

1

映像表示中、録画をしたいときに

録画 を押す

● 約0.3秒おきの映像を4枚録画する

● 録画中に表示され、終了すると消える

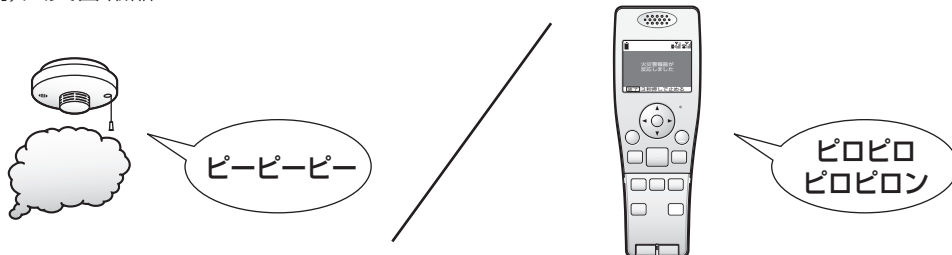
お知らせ

● 録画 を押してから録画されるまで時間差が生じます。
このため 録画 を押したときの映像と実際に録画された画像が異なることがあります。

● 手動で録画した画像は、再生済み扱いになります。（再生するには☞ 26ページ）

火災警報器などが反応したとき

ドアホン親機に火災警報器、外部センサー、地震警報器のいずれかを接続している場合、機器が反応したときに、子機にも下記のように通知されます。

●「ドアホン親機編」52ページとあわせてお読みください。

● 接続機器が反応を終了するか、または最大3分経過すると、自動的に通知音と画面表示も終了します。

■ **通知音と画面表示をすぐに終了したいとき**(鳴り始めから約5秒間は終了できません)

終了 を約3秒間押す(ドアホン親機とすべての子機の通知音と画面表示が消える)

■ **通知音と画面表示について**

接続機器	通知音(音量は固定)	画面表示
火災警報器	ピロピロピロピロン	火災警報器が反応しました
外部センサー	プルルルプルルル	外部センサーが反応しました
地震警報器	ピロピロピ・ピロピロピ	地震速報を受信しました

お願い

● 接続機器の点検時は、ドアホン親機や子機の動作も確認してください。

お知らせ

● ドアホンとの通話中や、ドアホン室内通話中に、接続した機器が反応すると、通話が切れて上記の通知音が鳴ります。

● 下記の場合、子機からは通知音が鳴らない(画面表示もしない)ことがあります。
- ドアホン親機から離れすぎていたり、間に障害物などがある場合(☞ 9ページ)
- 子機の電池が切れている場合

● **電話の利用について**(VL-SWN350KLの場合は、電話/ファクス親機に増設時のみ)
- 接続した機器が反応中でも電話をかけたり受けたりすることができます。(その他の操作はできません)
- 外線通話中や電話内線通話中に機器が反応したときは、受話口から通知音が聞こえます。
  ➔通話を終了すると、上記の手順で通知音と画面を終了できます。

(例：外線通話中のとき)

外線通話中
通話時間 0:00:30
火災警報器が
反応しました
通話終了後に停止可能です

電気錠やエアコンなどを操作する

ドアホン親機に接続した電気錠やエアコンなどを、子機の外部機器ボタンで操作することができます。

●「ドアホン親機編」54ページとあわせてお読みください。

1 施錠/解錠(またはON/OFF)したいときに

外部機器 **を押す**

(例：施錠するとき)

施錠しますか
はい
いいえ

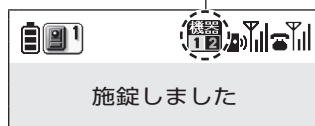
外部機器が2台あるとき

選択してください
外部機器１：電気錠
外部機器２：機器

でどちらかを選び、決定 を押す

2 で[はい]を選び、

決定 **を押す**

ここが変化する

(例)

■**外部機器1を施錠またはONにしたとき**

緑になる

■**外部機器1を解錠またはOFFにしたとき**

黒になる

お知らせ

●待ち受け中、ドアホン通話(モニター中)、カメラモニター中以外では、電気錠やエアコンなどの操作はできません。

必要なとき

通話中・モニター中に 別の呼び出しがあったとき

別の機器からの呼び出しは、通話中・モニター中に下記のように通知されます。

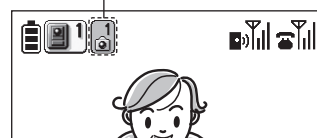
● ドアホン通話(モニター)中、カメラモニター中、ドアホン室内通話中のとき

■ ドアホン通話(モニター)中
■カメラモニター中
■ ドアホン室内通話中

別のドアホンやカメラから呼び出しがあったとき

1

「ピーンポーン」や「ピポッ」など
ドアホンやカメラの呼出音(☞ 47ページ)が鳴り、[モニター] が点滅する

● 画面には呼び出してきた機器のマークを表示(☞ 15ページ)

(例: ドアホン通話中にカメラから呼び出し)

2

呼び出してきたドアホンやカメラの映像を見るには
[モニター] を押す

● 元の通話やモニターが終了し、映像が切り替わる

ドアホンの場合

映像とともに周囲の音が聞こえますが、こちらの声はドアホン側には聞こえません。

● ドアホン側の相手と話すには
[通話] を押す

3

終わったら、
[終了] を押す

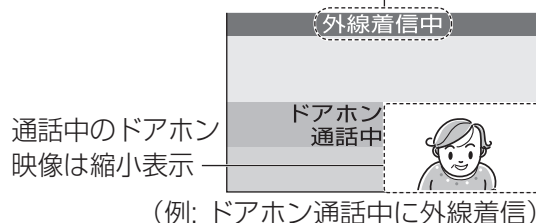
■ドアホン通話(モニター)中
■カメラモニター中
■ドアホン室内通話中

外から電話がかかってきたとき

VL-SWN350KLの場合は、
電話/ファクス親機に増設時のみ

1 「プルルルルルルル」と
電話の呼出音(「ベル1」固定)が鳴り、
☎ が点滅する

● 画面には「外線着信中」と表示

(例: ドアホン通話中に外線着信)

2 電話に出るには
☎ を押す

● 元の通話やモニターは終了し、外線通話に切り替わる

3 終わったら、
終了 を押す

■ドアホン通話(モニター)中
■カメラモニター中
■ドアホン室内通話中

電話/ファクス親機や別の子機から呼び出しがあったとき
(電話内線呼出)

VL-SWN350KLの場合は、
電話/ファクス親機に増設時のみ

1 「プルルプルル」などと
電話の内線呼出音(固定)※が鳴る

2 呼び出しに応答するには
終了 を押し、通話やモニターを終了する

● 電話内線の着信画面に切り替わる

3 **通話 を押す**

4 終わったら、
終了 を押す

※ご使用の電話/ファクス親機で「内線呼出」を「音声」にしている場合も、手順1では内線呼出音(固定)が鳴ります。

通話中・モニター中に別の呼び出しがあったとき（つづき）

外線通話中や電話内線通話中のとき

外線通話中にドアホンやカメラから呼び出しがあったときは、外線通話を保留にして、ドアホンとの通話やカメラ側のモニターができます。

■外線通話中
■電話内線通話中

ドアホンやカメラから呼び出しがあったとき

VL-SWN350KLの場合は、電話/ファクス親機に増設時のみ

1 「ピーンポーン」や「ピポッ」など
ドアホンやカメラの呼出音（☞ 47ページ）が鳴り、通話 または モニター が点滅する

● 画面には呼び出してきた機器のマークを表示（☞ 15ページ）

呼び出してきた相手の映像も縮小表示

（例: 外線通話中にドアホンから呼び出し）

2 ■ **ドアホン側の相手と通話するには**
通話 を押す

● 電話内線通話は終了し、外線通話は保留になる（外線 が点滅）
● ドアホンの映像表示が大きくなり、相手と通話ができる

■ **カメラ側をモニターするには**
モニター を押す

● 電話内線通話は終了し、外線通話は保留になる（外線 が点滅）
● カメラの映像表示が大きくなる

3 終わったら、
終了 を押す

● 外線を保留していたとき、外線通話に戻るには 外線 を押す

■外線通話中
■電話内線通話中

ドアホン親機や別の子機から室内呼び出しがあったとき
(ドアホン室内呼)

VL-SWN350KLの場合は、
電話/ファクス親機に増設時のみ

1 「プー」と
ドアホン室内呼の呼出音(固定)が鳴る

2 呼び出しに応答するには
[終了] を押し、通話を終了する
- ドアホン室内呼の着信画面に切り替わる

3 **[通話] を押す**

4 終わったら、
[終了] を押す

■電話内線通話中

外から電話がかかってきたとき

VL-SWN350KLの場合は、
電話/ファクス親機に増設時のみ

1 「プルルルルルルル」と
電話の呼出音(「ベル1」固定)が鳴り、[外線] が点滅する

2 電話に出るには
[外線] を押す
- 元の内線通話は終了し、外線通話に切り替わる

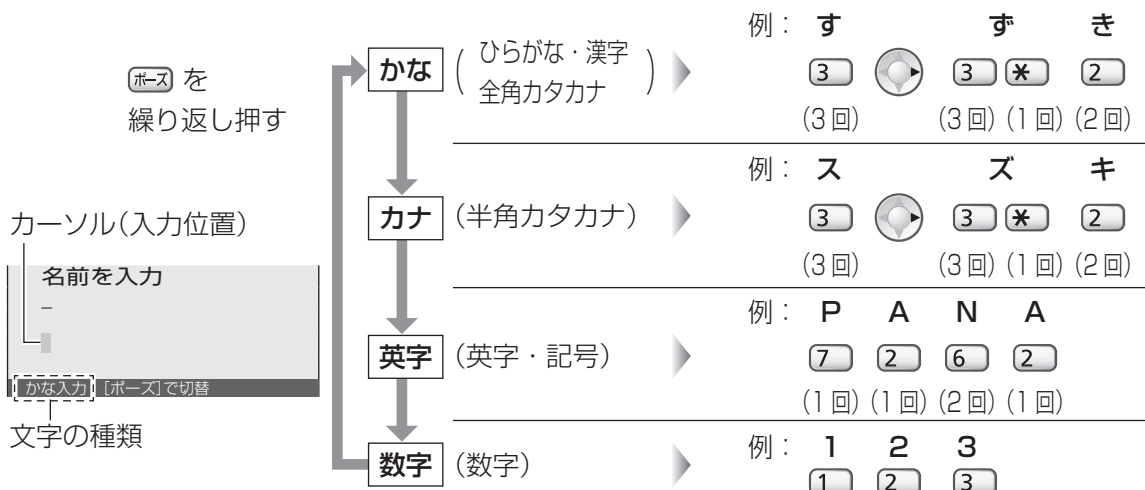
3 終わったら、
[終了] を押す

お知らせ

- NTTのキャッチホンサービスをご利用の場合、外線通話中にキャッチホンが入ると「プププップッ…」とキャッチホンの呼出音が鳴ります。
  ➔キャッチホンを受けるには(☞ 32ページ)

必要なとき

文字入力のしかた

子機の名前（☞ 49ページ）や電話帳※（☞ 36ページ）を登録するときに使います。
※VL-SWN350KLの場合は、電話/ファクス親機に増設時のみ。

こんなときは

■**同じボタンの文字を続けて入力する**（例：あい）

あ 1 ➔ ◎（カーソルを右へ） ➔ い 1 1

■**スペースを入れる**

室内呼 を押す

■**カーソルを移動する**

◎ を押す

■**途中で入力をやめる**

終了 を押す

挿入・修正・消去するには

■**挿入するには**

挿入位置の次の文字にカーソルを移動し、文字を入力する

■**修正するには**

修正する文字にカーソルを移動し、キャッチ クリアー を押して消し、入力し直す

■**消去するには**

消去する文字にカーソルを移動し、キャッチ クリアー を押す

■**すべて消去するには**

文字の先頭にカーソルを移動し、キャッチ クリアー を約2秒間押す

■ひらがなのとき

決定を押す

名前を入力 _ すずき	名前を入力 すずき_

●漢字に変換する前は10文字まで入力できる
●決定された文字は上段へ移動する

■漢字・全角カタカナに変換するとき

を繰り返し押して選ぶ → 決定を押す

名前を入力 _ 鈴木	名前を入力 鈴木_

変換候補を表示
●決定された文字は上段へ移動する

■変換中に変換する文字の区切りを変えるには

1. キャッチ クリアー で変換中の漢字をひらがなに戻す
2. で変換する最後の文字にカーソルを移動し、 を押す

名前を入力 _ ただのりこ

「ただ」の部分だけが変換される

●**希望の漢字に変換できないとき**
読みかた(音読み・訓読みなど)を変えて入力し、 を押す

お知らせ

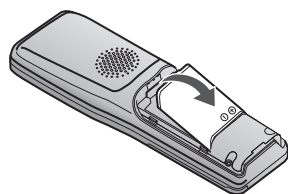
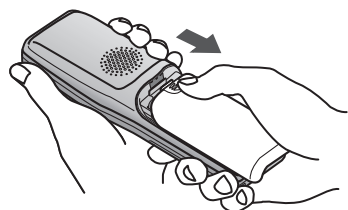
●複雑な漢字は、一部変形または省略して表示されます。
●希望の漢字に変換できないこともあります。

文字列一覧表

ボタン＼表示	かな	カナ	英	数
1	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	@(アットマーク) .(ドット) _(アンダーバー) -(ハイフン) & $ ¥ % + = ~ ^	1
2	かきくけこ	カキクケコ	A B C a b c	2
3	さしすせそ	サシスセソ	D E F d e f	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	G H I g h i	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	J K L j k l	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	M N O m n o	6
7	まみむめも	マミムメモ	P Q R S p q r s	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	T U V t u v	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	W X Y Z w x y z	9
0	わをんー(長音)!?()	ワヲンー(長音)!?()	! ? / ー * # , ; : | ・ ' " () [] {} <> 「」	0
*	゛(濁点) ゜(半濁点) 、 。		、 。	
室内呼	(スペース)			

●最大入力文字数には、スペースも 1 文字分として含みます。
●一覧表の文字とディスプレイに表示される文字の形は、異なることがあります。

電池パックを交換する

電池パックは消耗品です。
約8時間充電しても通話数分後に電池残量表示(▯)が赤で表示されたら、新しい電池パックと交換してください。

1 **電池カバーを開ける**

2 **古い電池パックを外す**

3 **新しい電池パックを入れて約8時間充電する**(☞ 16ページ)

● 新しい電池パックを入れたときの電池残量表示は、▯ になります

お願い

● 別売品「KX-FAN51」をお使いください。(☞ 裏表紙)
➔仕様:ニッケル水素蓄電池、DC 3.6 V、650 mAh

古い電池パックはリサイクルに…

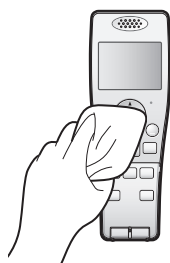
Ni-MH

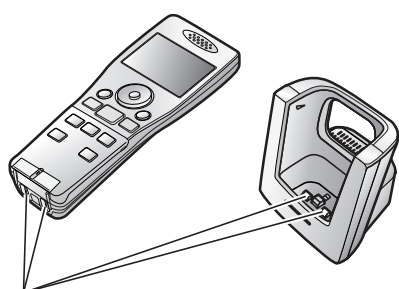
● この製品には、ニッケル水素電池を使用しています。
● ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
● 交換後不要になった電池パック、および使用済み製品から取り外した電池パックのリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープをはるかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
● リサイクル協力店のお問い合わせは、下記へお願いします。
- 製品、ニッケル水素電池パックをご購入いただいた販売店
- (社) 電池工業会小形二次電池再資源化推進センターおよび充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局

(社) 電池工業会ホームページ　http://www.baj.or.jp/

● **リサイクル時のお願い**
- 電池パックはショートしないようにしてください。 火災・感電の原因になります。
- 外装カバー(被覆・チューブなど)をはがさないでください。
- 電池パックを分解しないでください。

お手入れ

お手入れするときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

柔らかい布で、からぶきする

●汚れがひどいときは、柔らかい布に水を含ませ、固く絞ってふいてください。

充電端子は月に一度、乾いた布でふく

（充電端子が汚れていると、充電時間が長くかかったり、充電できないことがあります）

お願い

●お手入れに、アルコール類・みがき粉・粉せっけん・ベンジン・シンナー・ワックス・石油・熱湯などは使用しないでください。また、殺虫剤・ガラスクリーナー・ヘアスプレーなどをかけないでください。（変色、変質の原因になります）

必要なとき

仕　様

■ ワイヤレスモニター子機

電　源	専用ニッケル水素蓄電池 (専用ニッケル水素電池) (品番:KX-FAN51) (DC 3.6 V)(650 mAh)
外形寸法(mm) (高さ×幅×奥行)	183 × 63 × 32 (突起部除く)
質　量	約210 g(電池パック含む)
使用環境条件	周囲温度:0 ℃～+40 ℃ 湿度　　:90 %以下
画面表示	2.5型TFT カラー液晶ディスプレイ
無線通信方式	2.4 GHz 周波数ホッピング方式
使用時間※1	連続使用時間: • ドアホン通話 (スピーカーホン):約2.5時間 • 外線通話※2 (受話口での通話):約5時間 (スピーカーホン):約5時間 待ち受け時間:約200時間
充電時間	約8時間
使用可能距離	約100 m/見通し距離

※1 約8時間充電した状態で、使用環境温度が20 ℃のとき

※2 VL-SWN350KLの場合は、電話/ファクス親機に増設時のみ

■ 充電台

電　源	ACアダプター (品番:PFAP1013) AC100 V(50 Hz/60 Hz) (DC 8.5 V)(270 mA)
消費電力	待ち受け時:約0.8 W 充電時　　:約2.3 W
外形寸法(mm) (高さ×幅×奥行)	101 × 80 × 77 (突起部除く)
質　量	約93 g
使用環境条件	周囲温度:0 ℃～+40 ℃ 湿度　　:90 %以下

困ったとき

●参照先が「ドアホン親機編」の場合は、ページ欄に「ドアホン(○○)」と表記し、本書内の参照ページと区別しています。

●別売のカメラに関する内容(通信、センサー反応、映像表示)について気になる症状があるときは、「ドアホン親機編」の90〜93ページをお読みください。

	こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
画面表示(ドアホン映像)	被写体が白黒(または青紫)っぽく映ったり、背景が緑っぽく映る	●夜間などドアホンの周囲が暗いときに、ドアホンのLEDライトが消灯していると、色味が落ちるため、被写体が白黒(または青紫)っぽく映ります。 また、外灯などで明るいところや白い壁が緑っぽく映りますが、故障ではありません。 ➔ 夜間など、暗いときはドアホンの LED ライトを点灯させてください。 (別売のドアホンでLEDライトが付いていない場合、この操作はできません。)	21
	人の顔が暗く映る	●ドアホンを逆光になる位置に設置していると、来客の顔が暗く映り、識別しにくくなります。 ➔ 映像表示中に、[機能 明るさ] で逆光補正をしてください。 (別売のドアホンで逆光補正機能がない場合、この操作はできません。逆光にならない位置に、設置し直してください。)	21
	映像がはっきりしない・焦点が合わない	●ドアホンのレンズカバーが汚れていませんか? ➔ 柔らかい乾いた布でふいてください。	―
		●ドアホンのレンズカバーが結露していませんか? ➔ 周囲の温度が常温に戻れば回復します。	―
	映像全体が白っぽい、または黒っぽい	●明るさの設定は適切ですか? ➔ 映像表示中に、[機能 明るさ] で明るさを調節してください。	21
	映像が白っぽい、または白い線や輪が表示される	●ドアホンのレンズに太陽光などの強い光が当たると、見えにくくなる場合があります。(故障ではありません) ➔ 直接、太陽光が当たらない位置に設置してください。また、ドアホン全体の向きを変えることにより症状が軽減される場合があります。	―
	画面全体がちらつく	●ドアホンの近くに、蛍光灯など交流電灯の照明がありませんか? ➔ 周囲が暗くなってくると、照明によって画面がちらつくこと(フリッカー現象)があります。(故障ではありません)	―

困ったとき（つづき）

	こんなとき（症状など）	原因と対応	ページ
画面表示（ドアホン映像／その他）	**映像が乱れる、 または 映像の更新が遅い （約５秒以上かかる）**	●子機背面のアンテナ部（内蔵）を手でおおっていませんか？ ➔ アンテナ部から手を離してください。	13
		●子機がドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。	9
		●近くで電子レンジや無線LAN機器などを使っていませんか？ ➔ 子機をドアホン親機に近づけてください。 または、これらの機器から離してご使用ください。	10
	録画再生で、録画日時が「--/-- --:--」となっている	●日付・時刻が設定されていません。 ➔ ドアホン親機で、日付・時刻を設定してください。	ドアホン（19）
	夜間に録画されたドアホン画像が暗い	●夜間などは、ドアホンの画像表示に時間がかかるため、画像が表示される前に自動録画してしまうことがあります。 ➔ ドアホン親機で、「録画開始時間」の設定を「遅い」にしてください。	ドアホン（46）

	こんなとき（症状など）	原因と対応	ページ
ドアホン通話／室内通話	通話が途切れる または、 ほとんど聞こえない	●自分の周り、または通話相手の周りで、車や電車などが通る音、ペットの鳴き声、テレビの音、子供の泣き声など、大きい音がしていませんか？ ➔ 周りの音が大きいと、通話が途切れることがあります。プレストーク通話に切り替えると、話しやすくなります。	21
		●子機背面のアンテナ部（内蔵）を手でおおっていませんか？ ➔ アンテナ部から手を離してください。	13
		●子機が、ドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。	9
		●近くで電子レンジや無線LAN機器などを使っていませんか？ ➔ 子機をドアホン親機に近づけてください。または、これらの機器から離してご使用ください。	10
	雑音（ハウリング）が 聞こえて通話できない	●通話中の相手との距離が近すぎると、雑音（ハウリング）が聞こえます。 ➔ 少し離れた場所で通話してください。	－
	相手に、こちらの声が まったく聞こえない （こちらには相手の 音声が聞こえる）	●プレストーク通話になっていませんか？（ を表示） ➔ プレストーク通話では、「通話」を押している間だけ、相手にこちらの声が聞こえます。	21
モニター（ドアホン・カメラ）	指定したモニター先に つながらず、 「着信中の○○○を表示 します」と出て、 別の機器の映像が表示 される	●ドアホン親機の「鳴り分け」設定（☞「ドアホン親機編」43ページ）で、「鳴らない」に設定した機器から着信中のため、着信中の映像が表示されます。 ➔ モニター先を切り替えるには、「モニター」を押してください。	23 54

困ったとき（つづき）

	こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
呼出音	呼出音が鳴らない	●呼出音量が「切」になっていませんか？ ➔ 呼出音量「切」を解除してください。	46
		●子機の電池が切れていませんか？ ➔ 充電してください。	16
		●上記以外で、ドアホンやカメラからの呼出音が鳴らないとき • ドアホン親機の「鳴り分け」設定をしていませんか？ ➔ ドアホン親機で、「鳴り分け」設定を確認してください。	ドアホン(43)
		• カメラの場合、ドアホン親機の「カメラ呼出消音」設定をしていませんか？ ➔ ドアホン親機で、「カメラ呼出消音」設定を確認してください。	ドアホン(44)
電話	**電話の呼出音が鳴らず、電話をかけることもできない** (子機を電話/ファクス親機に近づけても電波表示が「圏外」になる)	●電話/ファクス親機がドアホン親機から離れすぎていませんか? ➔ ドアホン親機に近づけて設置し直してください。	9
		●電話/ファクス親機とドアホン親機の間にコンクリート壁などの障害物がありませんか? ➔ 電話/ファクス親機は、ドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物のない場所に設置し直してください。	9
	相手の声が途切れる または、雑音が入る 「ピピッピピッ」音が 聞こえ、通話が切れる	●子機背面のアンテナ部(内蔵)を手でおおっていませんか？ ➔ アンテナ部から手を離してください。	13
		●子機が電話/ファクス親機から離れすぎている、または電話/ファクス親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ 電話/ファクス親機の近く、または障害物のない場所に移動してください。	9
		●近くで電子レンジや無線LAN機器などを使っていませんか？ ➔ 子機を電話/ファクス親機に近づけてください。または、これらの機器から離してご使用ください。	10

	こんなとき(症状など)	原 因 と 対 応	ページ
充電	が赤で表示され、「ピッピッ」と鳴る	●電池がなくなりかけています。 ➔ すぐに充電してください。	16
	充電台に置いても充電ランプが点灯しない	●ACアダプターがコンセントまたは充電台から外れていませんか？ ➔ ACアダプターをコンセントまたは充電台にしっかり差し込んでください。	16
		●充電台に正しく置いていますか？ ➔ 正しく置いてください。 (「ピッ」と鳴り、充電ランプが赤点灯する)	16
		●充電端子が汚れていませんか？ ➔ 乾いた布でふいてください。	65
		●電池パックが新品、または電池が切れていませんか？ ➔ 数分間、充電台に置いたままにしてください。	16
	約８時間充電しても、充電ランプが消灯しない	●ドアホン親機や電話/ファクス親機の電源が入っていないときや、子機に「圏外」や「圏外」と表示されているときは、充電時間が長くなります。 ➔ ドアホン親機や電話/ファクス親機の電源が入っていることを確認し、子機の電波表示が「」になるまでドアホン親機や電話/ファクス親機に近づけて充電してください。	16
	充電しても2、3回使うと が赤で表示される	●電池パックの寿命です。 ➔ 交換してください。	64
	子機、ACアダプター、充電台が温かい	●異常ではありません。 (夏は冬に比べて少し熱く感じることがあります) ➔ 非常に熱いときは、ACアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。	−

困ったとき（つづき）

	こんなとき（症状など）	原因と対応	ページ
その他	正しく操作しても 動かない 動作がおかしい	●直らないときは、電池パックを入れ直してください。（リセット） • 登録した設定内容などは消えません。 • 電池残量表示が［電池マーク］になりますが、残量は変わりません。	—
その他	子機をドアホン親機または電話/ファクス親機から減設したら、通信にノイズが入るようになった	●ドアホン親機と電話/ファクス親機の距離が近すぎませんか? ➔ 子機（VL-W606）がドアホン親機と電話/ファクス親機の両用子機として1台も登録されていない場合は、親機同士の電波が干渉することがあります。親機同士を3 m以上離してください。	—

こんな表示が出たら

表　示	原 因 と 対 応	ページ
ドアホン親機使用中	●ドアホン親機や別の子機が使用中です。 ➔ ドアホン親機または別の子機での使用が終わってから、やり直してください。	−
ドアホン親機に 接続できません	●子機がドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。	9
	●近くで電子レンジや無線LAN機器などを使っていませんか？ ➔ これらの機器から離してご使用ください。	10
保護画像です 保護を解除してください	●保護画像のため、そのままでは消去できません。 ➔ 保護を解除してから、消去してください。	28
保護画像がいっぱいです これ以上保護できません	●保護画像がいっぱい(20件)になっています。 ➔ 別の画像の保護を解除してから、保護してください。 ※保護を解除した画像は、新しい画像によって順次、消去されます。	28
カメラ番号(1～4) カメラ1に 接続できません	●ドアホン親機とカメラ間が正しく接続されていない、またはハブやルーターをご使用の場合に、それらの機器の電源が入っていないなどの可能性があります。 ➔「ドアホン親機編」90ページの「カメラ/テレビ/レコーダーと通信できない」の項目を参照のうえ、接続や電源を確認してください	−

こんな表示が出たら（つづき）

表　示	原因と対応	ページ
■通話やモニター終了時に下記の表示が出る 火災警報器が反応しました 外部センサーが反応しました 地震速報を受信しました	●火災警報器、外部センサー、地震警報器が反応していませんか？ ➔ 確認してください。	56
	●火災警報器、外部センサー、地震警報器が反応していない場合は、配線に異常がある可能性があります。 ➔ お買い上げの販売店にご相談ください。	–
登録失敗	●親機への登録が完了していません。 登録する親機に子機を近づけ、登録操作をやり直してください。 • ドアホン親機に登録するとき （☞「ドアホン親機編」76ページ） • 電話/ファクス親機に登録するとき （VL-SWN350KLの場合☞ 19ページ VL-SWN355KLの場合☞「ファクス親機編」86ページ）	–

●以下は、VL-SWN355KLの場合や、VL-SWN350KLで電話/ファクスに増設時のみ表示されます。

表　示	原因と対応	ページ
転送できません	●子機が電話/ファクス親機から離れすぎていませんか？ ➔ 電話/ファクス親機に近づけてください。	–
	●転送先（電話/ファクス親機）の電話帳に空きがありますか？ ➔ 電話/ファクス親機で不要な電話番号を消去してください。（VL-SWN355KLの場合は☞「ファクス親機編」37ページ）	–
電話親機使用中	●電話/ファクス親機または別の子機が使用中です。 ➔ 電話/ファクス親機または別の子機での使用が終わってから、やり直してください。	–
電話親機に接続できません	●子機が電話/ファクス親機から離れすぎていませんか？ ➔ 電話/ファクス親機に近づけてください。	–
	●電話/ファクス親機の電源が入っていますか？ または、停電中ではありませんか？ ➔ ACアダプター（または電源コード）をつないでください。（停電中は使えません）	–

表　示	原因と対応	ページ
電話帳がいっぱいです	●電話帳に空きがありません。 ➔ 子機で不要な電話番号を消去してください。	37
ドアホン親機が 電話親機の圏外です 電話親機の電源と場所を 確認して［再開］を押す	●電話/ファクス親機の電源が入っていますか？ ➔ ACアダプター（または電源コード）をつないで、子機の (決定)（再開）を押してください。	－
	●電話/ファクス親機がドアホン親機から離れすぎていませんか？ ➔ 電話/ファクス親機をドアホン親機に近づけて、子機の (決定)（再開）を押してください。	9
ドアホン機能のみ 使えます 動作モードを変更する または、電話親機登録を 変更してください	●子機（VL-W606）を登録している電話/ファクス親機とは別の電話/ファクス親機を、ワイヤレスアダプター機能でドアホン親機と接続していませんか？ ➔ 上記の場合、子機はドアホン/電話両用で使えません。（ドアホン機能のみ使えます）	－
	➔ 両用で使うには、ワイヤレスアダプター機能での接続をやめるか、子機を登録している電話/ファクス親機から子機登録を解除（減設）し、ワイヤレスアダプター機能で接続している別の電話/ファクス親機に子機を登録し直してください。	－
	●複数の子機（VL-W606）を、2台以上の電話/ファクス親機に登録していませんか？ ➔ ドアホン/電話両用で使うすべての子機を、同じ電話/ファクス親機に登録しないと、ドアホン/電話両用で使えません。	－
	●電話/ファクスの買い替えなどで子機を新しい電話/ファクス親機に登録し直すときは、すべての子機の登録が完了するまで、この表示が出ることがあります。 ➔ 電話/ファクス親機を変更するときは、今までご使用の親機からすべての子機を減設し、そのすべてを新しい親機に登録し直してください。	－
動作モードを 変更してください	●子機の「動作モード」の設定が、「ドアホン」または「電話」になっていませんか？ ➔ ドアホンと電話両方の機能を使うには、子機で、設定を「ドアホン/電話」に変えてください。	53

保証とアフターサービス　よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし電池パックは、消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、本製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後7年（VL-SWN355KLのファクス親機のみ5年）保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

本書の67～75ページ、「ドアホン親機編」の84～97ページ、「ファクス親機編」（VL-SWN355KLのみ）98～108ページに従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグとACアダプターを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は、**保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは、**修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容		
製品名	ワイヤレスモニター付テレビドアホン	パーソナルファクス付テレビドアホン
品　番	VL-SWN350KL	VL-SWN355KL
お買い上げ日	年　月　日	
故障の状況	できるだけ具体的に	

お願い

- 停電などの外部要因により、録画、録音、通話などにおいて発生した損害の補償については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/pcc/contact/inquiry/la_index.html

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話　フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187
FAX　フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック

修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北 海 道 地 区

地区	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東 北 地 区

地区	所在地	電話番号
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1	☎(018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首 都 圏 地 区

地区	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5822
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0180

中 部 地 区

地区	所在地	電話番号
石川	金沢市横川3丁目20	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)25-5001
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)255-1380

近 畿 地 区

地区	所在地	電話番号
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)646-2123
大阪	大阪市城東区関目2丁目15-5	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4	☎(078)796-3140

中 国 地 区

地区	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音1丁目13-5	☎(082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	☎(083)973-2720

四 国 地 区

地区	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九 州 地 区

地区	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	奄美市名瀬朝仁町11-2	☎(0997)53-5101

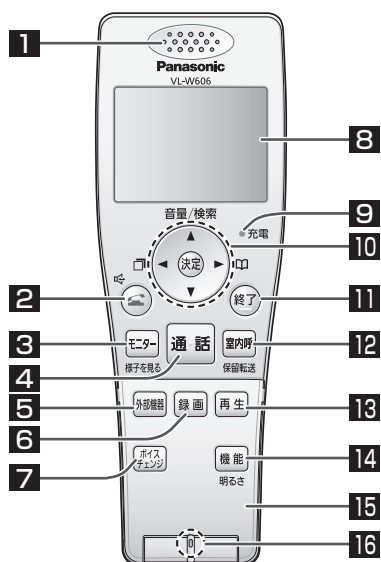
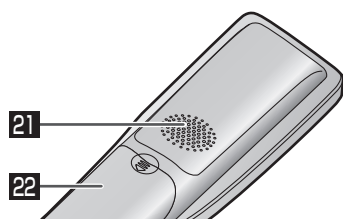
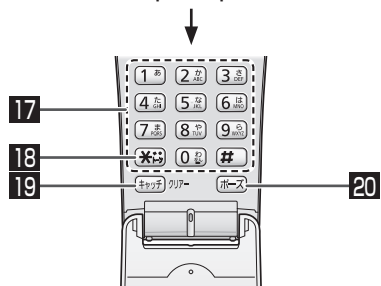
沖 縄 地 区

地区	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0108

Quick Reference Guide

Parts Descriptions

The flip is opened.

1 Earpiece

2 Talk button & indicator (Telephone)

3 Monitor button & indicator

4 Talk button & indicator (Doorphone)

5 External button (To lock/unlock the door, and etc.)

6 REC button

7 Voice change button

8 Display

9 Charge lamp

10 Navigator button

 Set button

11 OFF button

12 Intercom/Hold button

13 Playback button

14 Function/Brightness button

15 Flip

16 Microphone

17 Numeral/Character buttons

18 Tone button (To switch to DTMF tone)

19 Flash button/Clear button

20 Pause button

21 Speaker

22 Battery cover

■本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
■ This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

Basic Operations

● The number after the button shows the location of the button described in the previous page.

Doorphone function

■ To answer a door call

When the ringer tone is heard and the display turns ON, press 通話 (4).

■ To monitor outside image

Press モニター (3).

(To talk to the visitor, press 通話.)

● **More than one optional doorphone are connected.**

After press モニター, select a desired doorphone using ◇ (10) and press 決定 (10).

■ To monitor a camera image

After press モニター, select a desired camera using ◇ and press 決定.

■ To answer a call from a camera

When the ringer tone is heard and the display turns ON, press モニター.

■ To record the displayed image

Press 録画 (6) while the image is displayed.

■ To play back the recorded image

Press 再生 (13). ➔ Select a desired item using ◇. ➔ Press 決定. ➔ After press 決定, select the image using ◇.

Telephone function

■ To make a call

Lift the personal phone from the charger and press ☎ (2). ➔ Open the flip (15) and dial.......To end the call, place the personal phone on the charger or press 終了 (11).

■ To receive a call

When the phone rings... ➔ Lift the personal phone from the charger or press ☎. ➔ Talk.......To end the call, place the personal phone on the charger or press 終了.

■ To switch to the speakerphone (Hands-free talk)

During a call, press ☎ for approx. 2 seconds.

➔ Talk to the microphone.

● **To get back to talking by the Earpiece**

Press ☎ for approx. 2 seconds again.

■ To place the current call on hold

Press 室内呼 (12) during a call. ➔Press 終了.

■ To retrieve the held call

Press ☎.

■ To transfer the held call to the base unit

Press 室内呼 during a call. ➔ Open the flip and press 0.

➔ After the other party answers, place the personal phone on the charger, or press 終了.

■ To transfer the held call to another personal phone

Press 室内呼 during a call. ➔ Open the flip and press 1 ~ 6 (Intercom No.).

➔ After the other party answers, place the personal phone on the charger, or press 終了.

さくいん

A～Z 行

あ 行

か 行

さ 行

た 行

な 行

は 行

は 行

ま 行

や 行

ら 行

別売品

価格は 2008 年 6 月現在のものです。

製品名	品番	希望小売価格
ワイヤレスモニター子機用電池パック 松下テクニカルサービス（株）扱い	KX-FAN51	2,310 円 （税込）

■本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
■This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

便利メモ （おぼえのため、記入されると便利です）

販売店名	電話（　　）　　－

本機の製品情報をホームページで見ることができます。
http://panasonic.jp/door/

●BluetoothはBluetooth SIG, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
●その他、本書に記載の会社名･ロゴ･製品名･ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。
●子機のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
コミュニケーションネットワークカンパニー
〒 812-8531　福岡市博多区美野島 4 丁目 1 番 62 号

PNQX1066ZA SM0408MT0